

マリア×めい×メシア 台本

● 第1章

マ「おい、お兄さん♡

ここ、ここ♡ こっちだよ♡♡

やっと来たねえ♡

ちょっと時間遅れてるよ？

女の子待たせるとか、ありえないっしょ♡

あはっ♡ ま、許してあげる。

あたしとお兄さんの仲だもんねえ♡

ん？ ああ、そうそう。

こっちの二人が、さっき連絡入れといたヤツ。

あたしの友達♡」

め「ど、どうも……。」

初めまして。めい、です……。」

メ「め、メシアです。」

そ、そのお……。きよ、今日は、よろしく……。っ。」

マ「あはっ。」

二人とも緊張しすぎ〜。

ま、二人とも、p活は初めてみたいだから、

仕方ないかな？

いやあ、よかったねえ、お兄さん。

こんなかわいい女の子の初p活、もらえちゃうなんてさ。」

め「その……私たち、p活っていうのがどういものなのか、

実際に体験したくなって……。」

でも、いきなり知らない人に会うのは怖いからって、

マリアちゃんに相談したんです。」

メ「そうしたら、マリア、初心者にオススメの人がいるから、って……。」

今日、ここに集合って言われて……。」

前からマリア、お気にの人がいるって何度も言ってたけど……。」

もしかして、それがお兄さんってこと?。」

マ「そーそー。」

いい人だよお、このお兄さん。

お金もいっぱいくれるし、優しいし、

気が利くしい……。

それに、チンポもめちゃくちゃいい具合で♡」

め「う……。

その、私たち……っ、今日は、

そういうことをしに来たんじゃないですから……っ。

いわゆる普通のp活っていうか……。」

メ「え、そうなの？

あたし、がっつりやる気なんだなって思ってたんだけど……。」

め「め、メシア……っ。」

マ「あははっ。

まあ、そういう話はあとでするとして……。

んじゃ、とりま、お兄さんちでも行こっか。

この人数でホテルはちよいとまずいっしょ？

全員、がっつり制服だし♡」

め「お、お兄さんのお家……ですか？」

メ「自分ちに」三人連れ込むってのも、

相当ヤバいと思うけどね……。」

マ「うちも普段から入り浸ってるからへーきだって。

さ、行こ行こ。お兄さん♡

ほうら、いつも通り、腕組んで歩こ♡

二人は後ろから着いてきてね♡♡

んひひひひ……♡」

め「なんか……やけに、見せつけられるね……。」

メ「上級者の余裕？ 的な……？」

なんか……ムカつく……。」

マ「でさ〜。

そんな時メシアったら、ガチでやさかしちゃってさあ。あはは……っ。」

メ「ちよっ、マリアっ。

その話は誰にもすんなって言ったでしょっ。

お兄さんっ、耳塞いでっ。

今すぐっ、早くっ。」

め「……騒がしくしちゃってごめんなさい。

いいんですか？

こんなにはしゃいじゃって……。

近所の人に迷惑とか……。」

マ「へーきだつてばあ。

普段はここで、もっと大きな音出してんだし♡

ねー、お兄さん♡

……って、もうこんな時間か。

ω人で集まってる、楽しすぎてあつという間だねえ。

お兄さん……そろそろ、待ってるのも辛いっしょ♡

これ以上待たせちゃうと、時間も遅くなっちゃうし……♡

そろそろしよっか？

p活……本番♡」

め「え……。そ、それって、まさか……。」

×「しちゃうの？ ホントに……？」

マ「んひひ……。♡

二人はそこで見えていーよ♡

まずはあたしたちが、お手本見せたげるから♡

あたしらはいつも通り……。♡

いちゃいちゃしながらしよっか♡

んふふふふふ……♡

● 第2章

マ「ほうら、お兄さん……♡

まずは、お約束の、ちゅー……♡

っはぁ……♡

あは、お兄さん、いつもより激し……♡

二人の前だからって、興奮してる？

んふふ……♡

っはぁ……♡」

め「ど、どうしょ、メシア……。

私たち、本当に見てるだけでいいの……？」

メ「いやでも、ここからどう参加したらいいかなんて、

わかんないって……。っ。」

マ「っはぁ……♡

んひひ……♡

お兄さん、身体、熱くなってるよ？

ホントに興奮してるんだ……♡

二人でいっつもしてることなのにさ……♡

他の誰かに見せつけるってなったら、

やっぱ、ドキドキしちゃうんだねえ……♡

でも、それはあたしもおんなじ……♡

ほら……♡ あたしも身体熱くなってるの、

わかるでしょ……？

ぎゅーって密着するとさぁ……♡

いつも好き放題してる、この「ドスケベボディ」……♡

普段よりぽっかぽかだって……♡

きっと……♡ 中の方も、いつもよりあついよぉ……♡

お兄さんの硬あいの……♡

飲み込んであげてる、あたしのこ・こ……♡

二人の前でぶちこまれたら、絶対、

いつもより感じちゃう……♡

毎回遠慮なく、大きい声出しちゃってるけど……♡

きっと今日は、今までで一番、えっちな声……♡

出しちゃうだろうねえ……♡

んふふふ……♡

ほら、お兄さんも期待してきちゃってる……♡

おチンポ……♡ズボンの中でがちがだよお……♡

触ったたげよっか♡ほうら……♡

ズボン越しにい……♡おチンポ撫あで撫あで……♡

うわぁ……♡

あつつう……♡やっぱりいつもと全然違う♡

今日は面白くなりそうだねえ……♡

んふふふ……♡

め「え……？あ、あれ、大きくなって……？

ず、ズボン、持ち上げて……っ。

あんなに……？」

メ「 TENT 張ってるってやつだよね……？

うわ、す……。おっき……。

やばぁ……。

あ、あんなの相手するの、あたしたち……。」

め「あ、相手って……っ。

ま、まだするって決まったわけじゃあ……っ。」

マ「ほうら、お二人さ〜ん♡

そんなところでごによごによしてないでさあ♡

もっと近くで見なよ♡

触らなくともいいからさ、見るだけ見るだけ♡」

め「う、うう……。」

ま、まあ……見るだけなら……。」

メ「え？ 行くの？」

め「こ、ここからで……いいですか？

う、わ……。」

近い……。ここからだ、大きいのが、

もっと大きく見えて……っ。」

メ「ううわぁ……っ。」

やっぱ……。だってこれ、まだ脱いでないじゃん……。

これ、直で見たら、ど、どれだけ……。っ。」

マ「お？ お？ あはっ。

お兄さぁん……♡

近くで見てもらえて、また興奮してきてない？

おチンポ軽うくだけど……♡

びくんってしたよ？ へんたあい♡

嫉妬しちゃうなあ……♡

せっかく今日まで、何回もp活してたのにさぁ……♡

今日初めて会った二人相手に、

おチンポ勃起させちゃうなんて……♡

お兄さんが一体、誰のものなのか……♡

この二人に見せつけてやらないとだね……♡

ほら、お兄さん♡

お口、あゝん……♡

えっぐいべろちゅー……♡ するよ♡

んうはぁ……っ♡

っはぁ……♡

んふふふふ……っ♡「♡」

め「あ……♡ すごい、キス……♡

舌、絡めて……♡ にゆるにゆる、ぐちゅぐちゅ……♡

気持ちいいんですか……♡ お兄さん……♡

マリアちゃんとの、本気のキス……♡

いっぱいねっとり、JKのお口、味わうの……♡

気持ちいいんですか……♡」

メ「どんどんちんちん、大きくなってきてる……♡

ズボン、どんどん膨らんできて……♡

大丈夫……？

これ、ズボン壊れちゃわない……？

早く外に出した方が、よさそうじゃない……？」

め「ズボン脱いで……♡ な、生のおちんちん……♡

私たちに見せつけたりとか……♡

するんですか……？

ディープキスで勃起した生おちんちん……♡

JK相手に見せつけて……♡

また興奮、しちゃうんですか……？」

メ「はあはあって……♡

興奮してる感じの息、漏れてきてる……♡

これって、お兄さんの？

それともマリアの？ 両方、かな……………♡

二人とも、えっちなキスして……………♡

すっごい興奮してるんだ……………♡」

マ「あはあ……………♡

お兄さん、鼻息すっご……………♡

ちょっと興奮しすぎじゃない……………？

ほら、ここ……………♡ おチンポの先っぽでしょ♡

普段はここまで勃起しないじゃん♡

ひどいなあ、もう♡

ム力つくからあ、先っぽかりかり、いじめちゃう♡

パンツ汚れるとかどうでもいいもん♡

亀頭かりかりこすっちゃうから、我慢汁漏らして、

ズボンとパンツに染みこませちゃえ♡」

め「あ……………♡

先っぽいじられて、おちんちん、びっくん……………♡

気持ちよさそうに跳ねて……………♡」

メ「ねえ、大丈夫？ お兄さん……………♡

これ、しゃ、射精……………♡ しちやいそうなんじゃ……………♡

ズボンの中に、どぶどぶでちゃうの？

ホントに脱いだ方がいいんじゃない？……♡

め「そうですよ……♡

もう、私たちはいいですから……♡

生おちんちん見せられても、平気ですから……♡

ズボン、脱いでください……♡

勃起おちんちん、私たちの前に……♡

出してください……♡

×「勃起して、苦しそうなちんちん……♡

あたしたちにも見せて……♡

大きいの……♡

生で、見させて……♡

マ「ふふふふ……♡

二人ともノリノリになってきたねえ♡

じゃ、お兄さん♡

次はホントに、おチンポ気持ちよくしたげるね♡

焦らしちゃってごめんねえ♡

お詫びにたつくさん……♡ キンタマ汁、抜き抜きしてあげるから♡

今日はめいっぱい、楽しもうねえ……♡

んふふふ……♡「

● 第3章

マ「それじゃ、お兄さん♡

お待ちかねの……おチンポ、しこしこだよ♡

あたしの手でたくさん、気持ちよくなってねえ……♡

あはっあ♡

勃起やっぱあ♡

大きくなりすぎて出しづらあい♡

よいしょ……つと。

あは、やっと出てきた♡

びんびんじゃん♡ すっごお……♡

やっぱこれ、あたしとしての時より大きいよね？

んふふ……♡」

め「これが、お、お兄さんの……？」

こんな大きいの……み、見たことないです……♡」

メ「え、や、ヤバすぎじゃない……？」

こんなの入れられちゃったらさ、あたし……。

こ、壊れちゃうじゃん……♡」

マ「二人とも興味津々だねえ♡

いいよお、いいよお♡

そのまま、あたしのお気にのお兄さんのおチンポに、

たっくさん見とれちゃいな♡

あたしがお兄さんをオススメした理由♡

すぐわかるからね♡

じゃ、行くよ、お兄さん♡

ほうら……♡

しこしこ、しこしこ♡

おチンポしゅっしゅ♡

いつも通りの手コキも、観客がいると、全然違うねえ♡

明らかにおチンポ、あっついよお♡

興奮しすぎ♡

ふふふ……♡

キスもいつもより、ちょっと激しめだし♡

んふふ……♡」

め「見られてるだけで、おちんちん、

大きくなるんですね……♡

なら、このままずっと、見ていてあげます……♡

お兄さんの大きなおちんちん……♡

おちんちんしごいてもらって、気持ちよさそうにしてる……♡

お兄さんのことも……♡」

メ「いっぱい気持ちよくなっていいよ……♡

あたしらも、見てるの、楽しいから……♡

ドキドキして……♡ そわそわして……♡

胸の中が……お腹の下のところかも……♡

熱くなっちゃうから……♡」

マ「おチンポいっぱいしごかれて、

熱い精液どびゅどびゅ出そうねえ♡

キンタマまでばんっぱんでさあ、もうたまにな〜って感じでしょ？..

普段だったら、30分はしごいてあげないと、

こうはならないのにねえ♡

こうしていっぱいキスして、らぶらぶ手コキしてあげてさあ…………♡

こっちも汗だくになるまでしてやないと、

ここまで勃起しないのにねえ…………♡

たった数分でフル勃起…………♡

「♡人に囲まれながら、視姦されながら手コキされるの、

快感えっぐいんだねえ…………♡ んふふ…………♡

ほら、二人とも♡

見てるだけじゃあもったいないよ♡

お兄さんのこと気持ちよくしてあげるの、手伝って♡」

め「見てるだけでこれなら…………♡

私たちもしてあげれば、もっと…………♡

って、ことですよね…………♡」

メ「え…………。な、何するの、めい…………?」

まさか、あたしらも、このちんちん…………、

いっしょに、しっしっ、とか…………?」

め「まだ、そこまでの勇気はないから…………。

するのは、この…………お耳…………♡

お耳、ぺろぺろって……♡」

メ「そ、それぐらいならあたしも……♡

じゃあ、いっしょにしようか♡

お兄さんのお耳……♡

にゅるにゅる、耳舐め……♡

んうぁ……♡」

め「どうですか、お兄さん……♡

おチンポ気持ちいいですか……♡

耳舐めしこしこ、気持ちいいですかぁ……♡」

メ「しこしこ、しこしこ……♡

ちんちん撫で撫で、ちんちんこきこき……♡

気持ちいいよね、こんなの、絶対……♡」

マ「あはっ♡」二人のダブル耳舐めだ♡

今日初めて会ったばかりの女の子に、

耳、舐められちゃってるよ、お兄さん♡

興奮する？　するよねえ♡

二人とも、あたしと同じぐらい美人だし、かわいいし……♡

おチンポ見られるだけで興奮しちゃうようなお兄さんなら、

こんな風に耳舐めされたら、ほら……っ♡

おチンポもつとバッキバキい……っ♡

どんどんエロいおチンポになつてくねえ……♡

このおチンポで、今日はどんなことしちゃうのかなあ♡

あたしと、いつも通りのことやったぐらいじゃあ、

この興奮チンポ、治まんないっしょ？

今耳舐めしてもらってるこの二人に……♡

見せつける以外のお礼でもしてやらないとさ……♡

あつつあつのキンタマ、空っぽにならないんじゃあない？

ふふふ……♡」

め「わ、私たちにも……♡

何か、するんですか？　やっぱり……♡

このおちんちんと……えっちなこと、たくさん……？

んう、はあ……♡」

メ「だ、ダメだって、そんなの……♡

今日……てか、さっき会ったばかりじゃん、

あたしたち……♡

そんな人と、えっちなことするとか……♡

そんないやらしい女じゃあないはずなんだけど……♡」

め「それは……そうかもしれないけど……♡

でも、このおちんちん見てたら……♡

このまま、見てるだけじゃだめかなって気がして……♡」

メ「そ、それは……あたしも思うけど……♡

少しぐらいなら、触ったりするぐらい……♡

してもいいかって気は、してきてるけど……♡

うう……♡」

マ「んふふ……♡

二人とも、お兄さんのおチンポにすっかりメロメロだねえ♡

だって、わかっちゃうもん♡ 女の子ならさあ……♡

そんなに遊んでるわけでもない」だって、

すぐにわかっちゃう……♡

お兄さんのおチンポが、どんだけ優秀かって……♡

これでももらったら、どれだけ気持ちよくなるのか……♡

どのぐらい幸せな気分になるのか、全部わかる……♡

メスの本能で感じ取っちゃうんだよねえ……♡

性欲むんむんになっちゃってさ……♡

おチンポいっぱいしてあげたいって……♡

抑えられなくなるの……♡

だから、ほら……っ♡

お兄さん……♡ そろそろ精液、ぴゅっぴゅしちゃおっか……♡

二人にトドメさしちゃう……っ♡

熱くて濃厚なおチンポ汁、どばどば出すとこ見せつけて……♡

二人とも、お兄さんのおチンポにガチ惚れさせちゃえ……♡

ほら、ほら……♡

熱いの出せ、どっぷり出しちゃえ……♡

濃いの……♡ あっつい……♡

見るだけでヤバいってわかつちゃう、

優秀種付けザーメン……♡

おチンポからどっぴゅん出しちゃえ……♡

出せ、出せ、出せ、出せ……♡」

め「だ、出してください……♡

見せてください……♡

お兄さんの精液……♡ おちんちん汁……♡

いっぱい……♡」

メ「出して、お兄さん……♡

ちんちん、どっぴゅん……♡ タマタマからお汁、

て……♡

出して、出して……♡

イッて、お兄さん……♡

イッて、イッて、イッて、イッてえ……♡」

マ「イケ♡ イケ♡ チンポイケ♡

チンポイケえ……♡

射精しろお……♡

出せ、出せ、出せ、出せえ……♡」

マ「んうあ……っ♡ あはっ、どくどく、出たあ……っ♡

うあっ、すごい、量……♡ 勢いやバあ……♡

どっくん、どっくん、おチンポ震わせて……♡

たっぷり出てる……♡ 飛び出てるう……♡

ああ……♡ 射精かっこいい……♡

ホンット、見てるだけでおまんこ熱くなっちゃう……♡

お兄さんのおチンポ射精……♡ すごすぎ……♡」

め「っはあ、っふう……♡

すごいたくさん、出ちゃってます……♡

マリアちゃんの手……♡ 床に……♡

あんなに飛び散って……♡

メ「う、あ……っ♡

匂い、やば……♡

何この匂い……♡ これが、ザーメン臭……♡

鼻、刺さる……っ♡ んっううう……♡

はっ、んうっ、くっさあ……♡

臭いけど……♡ キライじゃない、かも……♡

んっう、っふうう……♡

マ「んふふ……♡

いい顔してるねえ、お兄さん♡

いつもより満足感高めな感じ？

でもさぁ……♡ その割に、おチンポはまだ、

こんなに硬いまなんだよねえ♡

まだまだ二人に射精するとこ見せつけたって、

おチンポやる気満々だねえ♡

んふふ……♡

なら、今度は二人で何かやる？

特にめいはさ、いいもん持ってんじゃん？

それ使ってやらなきゃ♡」

め「い、いいものって……♡

も、もしかして……これですか？

この、おっぱい……♡」

×「ぬ……。

ふ、ふんだ。確かにあたしはまだまだだけどさ……。」

マ「そうそう、そのおっぱい♡

お兄さん、あたしのおっぱいも好きだからさ♡

めいのおっぱいも、絶対気に入るよ♡

ね、お兄さん♡」

め「そう、なんですか……？

それなら……ちよ、ちょっとだけなら……♡」

マ「あは♡ なら、あたしが隣でやり方教えてあげるよ♡

二人でお兄さんのおチンポ、パイズリしてあげようよ♡

それでいい？ メシア。

メシアはまた、お耳担当ってことで♡」

メ「いいよ、それで……。」

ふん……っ。」

マ「それなら……♡

ほら、めい♡ こっちこっち♡」

め「いっで……するんだ……♡

お兄さんのおちんちん、おっぱいで……♡」

マ「ほぅら、お兄さん♡ 大好きなおっぱいだぞ♡

さ、めいも♡」

め「う、うん……っ♡

んっはぁ……♡

どう、ですか……？

おっばい、嬉しいですか……？

私なんかのおっばいで……♡

お、おちんちん、興奮……♡

あ……♡ むくむく、持ち上がって……♡

興奮、してくれるんですね……♡」

メ「いいよねえ、めいのおっばい……♡

あたしなんかより、すごい大きくてさあ……♡

そのおっばいで、ちんちん揉み揉み♡

してもらうんですよ？

ちんちんパイズリで、精子、搾ってもらうんですよ……♡

絶対気持ちいいよねえ……♡

大好きなおっばいで、ちんちんしごいてもらうんだもんねえ……♡」

マ「んふふ……♡

ほら、行くよ……♡

おチンポ目掛けて……あたしらのおっばい、押し付けて……♡

おチンポサンドイッチ……♡」

め「あったかいおっばいで、おちんちん……♡

むにゅって包んであげますね……♡

ほうら……っ♡

むっ、にゅん……♡

っああ……っ♡ おちんちん、びっくんって……♡」

マ「あはあ……♡

ぜくんぶ隠れちゃったねえ♡

お兄さんのおチンポ♡ うっわあ……♡

おっぱいエロすぎ……♡

あたし一人じゃあおチンポ隠し切れなかったけど……♡

めいの爆乳と力合わせれば、こんなこともできちゃうんだ……♡

こんなドスケベ爆乳パイズリなんか食らったら……♡

絶対また、たっくさんチンポ汁、お漏らししちゃうよね……♡」

め「いいですよ……♡

またたくさん、出してください……♡

私、見たいです……♡

お兄さんのお射精……♡ もっと、見てみたいです……♡

いっぱい、おっぱいでしてあげますから……♡

たくさん気持ちよく、なってくださいね……っ♡

んっうん……っ♡
「♡」

メ「ああ、始まった……♡

二人でおっぱい擦り合わせて、ちんちんごし……♡

二人のおっぱい、むっちり重ね合わせられて、

ちんちんむっぎゅう……♡

ちんちん気持ちいいでしょ、絶対……♡

気持ちいいのに、ちんちん全部、

柔らかか乳肉に包まれちゃってるから、

逃げ場なんかなくてさ……♡

おっぱいの快感、ちんちんに叩き込まれちゃう……♡

ちんちんヤバイ♡ おっぱい気持ちいい♡

キンタマまた、あつつあつになっちゃう……♡

はぁ……♡

ホントにおっぱい好きなんだね、お兄さんって……♡

ふん……♡
「♡」

マ「んうう、ああ……っ♡

残り汁と我慢汁で、おっぱいの中、べっちょべちょお……♡

ぬるぬるイカ臭汁たっぷりになっちゃって……♡

匂い、染みついちゃいそうだよ……♡

「二人の爆乳に、おチンポマーキングとか……♡

贅沢すぎでしょ、お兄さん……♡」

め「んっ、ふうっ、はっあ、はあ……♡

おちんちんの匂い……♡

さっき感じた、精液の匂い……♡

位置が、近いから……かな……♡

さっきよりもっと強く……っ♡

匂い、感じちゃってえ……♡

この匂い、やっぱり、私……♡

んっうん……♡ 興奮しちゃう……♡

おちんちんの匂い……っ♡

精液の、ザーメンの、お兄さんの匂い……っ♡

おまんこ、熱くなっちゃいます……♡

はっ、はっ、はっああ……っ♡「

メ「ねえ……♡ わかる……？」

めい、発情しちゃってる……♡

お兄さんのちんちんの匂いで……♡

にゆるにゆるパイズリで、ちんちんいじめてる方のめいが、
興奮しちゃってる……♡

身体ぽっかぽかに温かくなって……♡

おっぱいの中も、もっと熱く……♡

ちんちん包んでる、パイズリオナホも、

もっといっぱい、あつつあつ……♡

ちんちん気持ちいいの増えちゃうね……♡

もっといっぱい感じさせられて……♡

精液また、昇って来ちゃう……♡

熱いの、臭いの……♡

また出ちやいそう……♡」

マ「まだ出しちゃダメだよ、お兄さん♡

だってまだ、本番はこれから……♡

これからお兄さんのおチンポ……♡

交互にフェラしてあげるんだから♡

おっぱいの中に隠れてるけど、

こっからはばっちり見えてるこの亀頭……♡

じゅるじゅるうって♡

ね、めい♡ いいよね？

おチンポ、フェラチオ……♡

ふふふ……♡」

め「ふえ、フェラチオって……♡

おちんちん、ぱっくんって……お口で啜えるんだよね……？

そ、そんなこと、私……♡

私……やったことない、ですけど……♡

お兄さんの、おちんちん……♡

は——♡ は——♡ は——♡

うん……♡

やって……みる……♡

やってみますね、お兄さん……♡

一生懸命、やりますから……♡

どうかいっぱい、気持ちよく、なってください……♡

んうあ……♡

っはあ……♡

んっ、はっ、はっあ……♡」

マ「お、いいねえ、めい♡

その調子♡

なら、あたしも……♡ ん〜……♡

っはぁ……♡

あはっ♡ おチンポあっつ……♡

やっぱすごい興奮してるね♡

こんなにばんっぱんになった亀頭、初めてだもん……♡

ふふふ……♡」

め「いっぱいおちんちん、感じてくださいね……♡

たくさんおしゃぶり、してあげますから……♡

んうぁ……♡」

×「めいのお口……♡ どんな感じ……？

一生懸命お口すぼめて、ちんちん、啜えて……♡

ちゅうちゅうちゅぱちゅぱ……♡

えっちなお汁が溢れてくるちんちん、

何度も吸ってるよ……♡

気持ちいいの……？

「えお口でちんちん舐めてもらうの、気持ちいいんだ……♡

そうだよね、やっぱり……♡

お兄さんの顔……♡ とろけてるもん……♡

ちんちん舐められて、幸せそう……♡

ふふふ……♡」

マ「ほら、めい♡

そろそろ交代♡ 次はあたしの番♡

あたしのお兄さんなんだぞ♡」

め「っはぁ……♡

ご、ごめん、マリアちゃん……♡

つい、その……♡

おちんちん、夢中になっちゃって……♡」

マ「いーのいーの♡ 気持ちわかるし♡

お兄さんのおチンポ……♡

ホント、美味しいもんねえ……♡

んうぁ……♡

っはぁ……♡

ほうら、こんなに最っ高の味……♡

んふふ……♡」

め「おちんちん、びくびくうって……♡

おっぱいの中で暴れちゃってますね……♡

もしかして、また出ちゃいそうなんですか？

熱々精子、漏れちゃいそう……？

なら、いいんですよ……♡

このまま出してくれても……♡

私たちのおっぱいの中で、

おちんちん汁……♡ びゅっびゅっびゅううって……♡

どうですか……？」

メ「イッちゃうんだ……♡

また出しちゃうんだ……♡

「相手におチンポイカされちゃうんだ……♡

むっちりあったか柔らかなおっぱいで、

どくどくびゅうびゅう……♡

臭いが出る♡ 熱いが出る♡

ちんちんイクイク♡ ちんちん漏れる♡

いいよ、出せ、出せ……♡

デッカいおっぱいに負けちゃえ♡

精液搾り取られちゃえ♡

出せ、出せ、出せ、出せ……♡」

マ「っはぁ……♡

我慢汁の量、ヤバ……♡

イキそうなの、マジっばいね……♡

なら、最後はいっしょにしょ♡

みんな同時に、一斉に……♡」

め「うん♡

たくさん出してくださいね、お兄さん♡」

×「キンタマザーメン、いっぱい漏らしちゃえ……♡」

マ「行くよぉ……♡

んうぁ……♡」

マ「イッちゃえ♡ イッちゃえ♡

精子出せ、精子出せ……♡

イケイケイケイケえ……♡」

マ「んううっうん……♡

んっぶっ、んっううん……♡」

め「んっうっ♡んうう……♡

んっ、くっ、んっふううう……♡」

×「出てる……♡ 出ちゃってる……♡

おっぱいに包まれながら、

」のお口里掛けっ、びゅるびゅるびゅっふう……♡

気持ちよさそー……♡ すっぴん出てるもえ……♡

射精、長あ……♡

め「んっううん……♡

んっ、ふっ、んっうん……♡」

△「んっ——♡

んっ、んっ……♡

んっんっんっ……♡」

△「んっ……♡ っっ、んっんん♡

んっんん、んっんん……♡♡」

め「んっっ……♡ んっ、んっ♡

んっんっ、んっんん……♡」

マ「っはぁ……♡

飲んじやったぁ♡ お兄さんの、たっぷりミルク♡

どう、めい？ 精液、美味しいでしょ♡」

め「っふう、っふう……♡

う、うん……♡ 思ってたより……♡

ずっと……♡ 美味しい、かも……♡

はぁ、はぁ……♡」

メ「いいなぁ、めい……♡

あたしも……あんないい匂いのするものだったら……♡

飲んでみたかったかも……♡」

マ「ま、これからはいつでも飲めるでしょ♡

二人がお兄さんとのp活、続けるならだけど♡

それよりさぁ……お兄さん♡

そろそろあたしたちのこと……♡

気持ちよくしてほしいんだけど……♡

いい？ ふふ、もちろんいいよね♡

だって、お兄さんのおチンポ……♡

まだまだ元気いっぱい、やる気充分だもんねえ♡

今日一番のお楽しみ……♡

そろそろ行っちゃおうか♡

んふふふ……♡「

● 第4章

マ「んふふ……♡

おチンポ、美味しそうに勃起させちゃってえ……♡

そんなにあたしとセックスしたいの？

「えおまんこで、おチンポにゅぷにゅぷしごいてもらって……♡

たあっぷり中出しキメちゃいたいんだあ♡

いつもみたいに……♡

んふふ……♡」

め「し、しちゃうんですね……♡

本当に、マリアちゃんと、セックス……♡」

メ「しちゃうというか………本当はいつも、

えっちしまくっちゃってるんでしょ？

今日はあたしらが、お邪魔しちゃってるってだけで……♡」

マ「そうそう♡ 多いと、一日に4、5回はするかなあ♡

お兄さん、おチンポもキンタマもすぐくって♡

相手するのも大変なんだけど……♡

気持ちいいから、やめられなくってね♡

でも、今日はあんまり多くはできないかな？

そっちの二人の分も残しておかないとだしねえ♡」

め「そっちの二人って……私たちのこと、だよね……？

わ、私たちも……お兄さんと……？」

メ「い、いやいや、そんなこと……♡

やっぱ、さっき会ったばかりのひと、

そんな……えっちするなんて……♡

あは……♡」

マ「ま、あたしたちのセックス見てから決めるといいよ♡

絶対したくなっちゃうと思うけど……♡

ほら、行くよ、お兄さん……♡

んっう……♡

もう何回目かもわからない……♡

何度もハメて、ハメ慣れた、」おまんこにい……………♡

おチンポ、挿入……………♡

んううあああ……………♡

っはああ……………♡ ふっ、はっ、んっはあっ、んっううん……………♡

っああ……………♡ きた、きた……………♡

お兄さんのおチンポ、すっご……………♡

いつもより、おっき……………♡ おまんこ、拡がるう……………♡

っふう、っふう……………♡」

め「入っちゃいましたね……………♡

マリアちゃんの中……………♡

じゅっぷうって……………何の抵抗もなく……………♡

ハメ慣れてるって言うぐらいだから……………♡

もう、すんなり入るぐらい、形、ぴったりで……………♡」

メ「って……………ゴム、してないんだけど？」

いいの？ それ……………。

生ちゃん、入れちゃって……………？」

マ「あはっ。ゴム着けてしたのとか、最初の一回かそこらだよ♡

ねえ、お兄さん♡

だってさぁ……♡ お兄さんのかっこいいおチンポ……♡

ゴムなんて着けてたら、もったいないから……♡

こっちのことも、いっぱい気持ちよくしてあげるって、

目一杯勃起してくれるおチンポ相手にはさ……♡

ちゃんど、生ハメおまんこで……♡

こうしてえ……♡ らぶらぶ手つなぎ恋人えっちでえ……♡

受け止めてあげないと、ダメだもんね……♡

んっうん……♡

んっ……んぁ、あん、んっ、ぁ、ぁぁ、ううっ♡

うん、ぁん、ぁんっ、ぁ、ぁっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

はっぁぁん……♡

ぁっはぁ……♡」

め「始まった……♡ おちんちん、セックス……♡

マリアちゃん、いっぱい腰振って……♡

お尻、たんたん、たんたん、お兄さんにぶつけるみたいに……♡

おちんちん出し入れしてる……♡

ぬるぬる愛液、もうたっぷり出てきて……♡

お兄さんのおちんちんから、えっちな糸、引いちゃってる……♡」

メ「ひ、人がセックスしてるって、こんな間近で見るなんて……♡

う、わ……♡ 喘ぎ声、すご……♡

マリア、こんなエロいんだ……♡

こんなの、女のあたしまで興奮しちゃう……♡

おまんこ……♡ 熱くなっちゃう……♡

やば……♡」

め「ふう、ふう……♡

お兄さん……♡

私たちも……♡ お手伝いした方が、いいですよね……♡

せっかく、いつもと違って、三人でしてるんですから……♡

ここで見ていただけなんて……♡

もったいないんですもんね……♡」

メ「お兄さんの乳首……♡

いじってあげよっか……♡

さっき、耳、してあげたみたいに……♡

お口で啜えて……♡

にゆるにゆる、おしゃぶり……♡

はっぁ……♡」

マ「んっううう……っ♡

おチンポ、おつきく……っ♡ あはぁ……っ♡

奥っ、奥うっ♡ んううっ、はぁぁ……っ♡

二人の乳首しゃぶりで勃起して……っ♡

いいところっ、あっという間に届いてる……っ♡

んううっ、あっぁぁぁ……っ♡

奥にいっぱいっ、ずんずんっ♡ おチンポ……っ♡

深いところお……っ♡

んうぁぁぁ……っ♡

あはぁっ……ぁぁんっ、ぁんっ、いや、やん♡

んぁう、ぁう、ぁん、ぁんっ、んぁっ、んぁうっ……♡

はっぁぁぁ……っ♡ きゅんきゅん来てる……っ♡

おまんこ、ぞくぞくう……っ♡

ㇿ交尾っ、すっげえいい……っ♡

あたしもいつもよりっ、たっぷり感じてえ……♡

んぁっ、ぁん、んくっ、んうっ……♡

んぁ、ぁぁん、あっ、ぁんっ、んう、んぁ、んぁっ♡

はっああん……っ♡

んうあっ、んっううんあっ♡

んっくうっ、んっううううう……っ♡

お兄さんっ♡ おチンポっ♡

すっごい、熱いよお……っ♡

ううううん……っ♡「♡」

め「お兄さん……♡

使い慣れたマリアちゃんのおまんこで、

そんなに気持ちよくなってるんなら……♡

もし、今までハメたことないおまんことしちやったりしたら……♡

どれだけ気持ちよくなります……？」

メ「めい……？ それって、めいもするってこと……？」

お兄さんの、あの……♡

マリアのおまんこ、ぎっちぎちに拡げてる、

ぶっといおチンポと……♡

セックスしちゃうってこと……？」

さっき会ったばかりの男の人と……♡

えっち、しちゃうってことだね……♡「♡」

め「うん……♡

したい……♡ したくなっちゃいました……♡

マリアちゃんのこの姿、見てたら……♡

この喘ぎ声、聞いてたら……♡

かっこいいおちんちん……♡

お兄さんの、大きなおちんちん、中に……♡

入れて欲しくなっちゃいました……♡

だから、次……♡

次は私のおまんこに……♡

お願いします……♡」

メ「なら、あたしも……♡

あたしもしたい……っ♡

ちんちん、入れて欲しい……っ♡

あたしだけ、さっき、パイズリもしてあげられなかったし……♡

あたしもお兄さんのこと、いっぱい気持ちよく、

してあげたいから……♡

あたしにもハメて……♡

あたしともセックス……♡

さっきはちょっと、怖かったけど……♡

今は……♡ ちんちん入りたいって方が……♡

強くなっちゃって……♡

二人のセックス……♡ エロすぎるから……♡」

マ「んっううう……っ!？」

お兄さんっ、んうあああ……っ。

あっ、あっ、あっ……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや♡

んっううう……っ♡

おチンポ突き上げっ、激しっ♡

ううっあああ……っ♡

二人ともセックスできるって聞いてっ♡

興奮して……っ♡ 終わらせに来たんでしょ……っ♡

ひどいって、それえ……♡

ハメ慣れたあたしより、まだ入れたことないまんこ、優先とか……♡

ううあああ……っ♡

んっううう……っ♡ イック、イック……♡

くっそお……♡ 怒りたいのに……っ♡

お兄さんの子宮突き上げっ、エグすぎて……っ♡

おまんこ幸せにされてっ♡

怒れない……っ♡ んっううう……っ♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

あっ、あっ、お兄さんっ、んっううう……♡

おまんこイクっ♡ おまんこイクからっ♡

中っ、中につ、ザーメン……っ♡

んっううう……っ♡「♡」

め「出ちゃうんですか……？」

射精しちゃうんですね……♡

マリアちゃんのおまんこに……♡

一番奥に……♡ 「子宮に、べっぴり中出し……♡」

ゴムも着けないで射精……♡

赤ちゃんデキちゃうようなこと、しちゃうんですね……♡

はい……♡ どうぞ、いいですよ……♡

出してください……♡

どびゅどびゅびゅうびゅう、出してください……♡」

メ「熱いの出しちゃえ……♡

奥にいっぱい、どっぷり種付け……♡

」子宮、大人精液ぶち込んで……♡

お兄さんの匂いでいっぱいにしちゃえ……♡

イッて♡ イッて♡ おチンポイッて……♡

出して、出して、出して、出して……♡」

マ「ううあっあああ……♡

イクイクイクイク♡

イククっ♡ イククううう……♡

んうあっ♡ はっあああ……♡

あっ、あっ、あっ、あっ、んうあっ、はっあああ……♡

イククうううううう……♡

んうううう、んううあっ、んっいっ♡

ううううう……♡

出て……♡ 精子っ、いっぱいっ、はあああっ、っへっううう……♡

どびゅどびゅ出る……♡ いっつもより、いっぱい……♡

んっううう……♡

子宮っ、たっぷたぷに……♡

一回で、こんな量……♡ 初めて、じゃない……っ♡

あっはあ……♡

はっ、はっ、んふう、んうっはあ……♡

っふう、っふう、っふう、はああ……っ♡

んっはあ……♡

ふう、はあ、はあ、はああ……♡

ああ、やば……♡

お兄さん……♡ ♪セックス、興奮しすぎ……♡」

め「いっぱい出したみたいですね……♡

それなら次は……♡

私にも、同じぐらい……♡

濃いのにっぱい……♡ 出してくれますよね……♡

私のおまんこ……♡

よろしくお願いしますね……♡

んう……♡

んうあ……っ♡

はっあ、はっああ……♡

行きます、ね……っ♡

っあああん……♡

はっ、んっ、んっうん……♡

ふう、ふう、ふっう……っ♡

メ「入っちゃった……♡

たった今、さっきまでマリアとセックスしてたちんちんが……♡

マリアの愛液でぬるぬるなまんまのちんちんが、

めいの中に……♡

おまんこ連続ハメ比べ……♡

気持ちよさそう……♡

マ「んふふ……♡

あたし以外に初めての「まんこ、いかがかなあ……♡

いっぱい違い、味わっちゃっていいからね♡

何せ、お兄さん自身が発情させたおまんこだもん……♡

こんなのもう、確実に合法っしょ♡

遠慮なく……♡ おまんこ、味比べしちゃえ……♡

め「おまんこ、ぞくぞく、止まらなくて……♡

っはぁ……♡

それと……確か、こう……♡

手つなぎ恋人えっち、でしたよね……♡

このまま、おまんこ……♡ 腰振りすれば……♡

んう……っ♡

っぁぁぁ……っ♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……♡

はっぁぁぁ……♡」

メ「めい……♡ 自分からおまんこ、振り始めちゃった……♡

えっちにお尻、叩きつけて……♡

おっぱいたぶたぶ、揺らしちゃって……♡

本気のセックス……♡

お兄さんと、マジで恋人同士みたいなえっち、しちゃってるよ……♡」

マ「めいもなかなかえっちだねえ……♡

あたしに負けないぐらい強烈な、

デカ尻叩きつけ交尾……♡

ぱんぱんぱん、いい音鳴らして……♡

ほら、愛液飛び散っちゃってる……♡

スケベなピストンでおチンポぐっぽり……♡

セックスの才能大ありだねえ……♡

お兄さんもううれしいでしょ？

こんなドスケベ」とおまんこできて……♡

でも……♡ だからって、

下手な乗り換えは許さないからね？

お兄さんは、あたしのものだってこと……♡

この乳首にでも、しっっかり……♡

刻みつけてあげる……♡」

メ」あたしも、さっきと同じように……♡

乳首たっぷり舐めてあげる……♡

またちんちん、いっぱい気持ちよくして……♡

めいのことも、いっぱい、楽しませてあげてよね……♡

んうぁ……♡」

め「んっうっうっう……っ♡

おまんこっ、キツい、ですう……っ♡

お兄さんのおチンポ、おっきくてえ……っ♡

っあああ……っ♡

こんなに、中っ、詰め込まれたことなんて、ない……っ♡

おまんこっ、いっぱいっ、おチンポいっぱい……っ♡

っあああ……っ♡

気持ちいいっ♡ 気持ちいいですっ♡

大人のっ、本気のっ、おチンポ……っ♡

大人とセックス……♡ これが、p活……っ♡

こんなのっ、私もっ、好きになっちゃう……っ♡

もっとお兄さんとっ♡ p活っ、したくなっちゃいます……っ♡

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ

♡

あっ、あつい、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

んうううあああ……っ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡「♡」

×「うっわ……♡」

めい、p活、ハマっちゃった……♡

今日だけじゃ終わらないの、確定しちゃったじゃん……♡

どうすんの？ マリアだけじゃあなくって、

これからはめいの相手もしなきゃじゃん……♡

お兄さん、忙しくなるよ？

ちんちん使いまくることになっちゃうよ？

大丈夫なの……？」

マ「ま、大丈夫でしょ♡

お兄さん、会う度会う度キンタマぱんぱんだもんね……♡

むしろ、ハメ穴が二つになった方が、

ちょうどよくなるんじゃない？

いいや……♡ ハメ穴は二つじゃあなくって、三つかな……？

んふふふ……♡」

メ「そ、そんなことないから……♡

あたしは、今は、その……♡

二人のセックス見ちゃって、ムラムラしてるから、

してもらうけど……♡

めいみたいにちんちに負けて、

これからp活よろしく願いしますなんて、

絶対ありえないから………♡

変な期待しないでよね、お兄さん………♡」

マ「だってさあ………♡ んふふ………♡

まあ、今は目の前のドスケベ女子に集中しようか♡

メシアのことは、また後で………♡

小っちゃいおまんこに大人チンポ、

ぶっ込んだ後に考えようね………♡

ふふふ………♡」

め「んううあ………♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡

おまんこっ、おっきっ♡ おちんちんでっ♡

んううああ………♡

おかしくなるっ♡ 変になっちゃうっ♡

こんなの知らないっ♡

奥っ♡ 奥っ♡ おちんちんっ、ぐっちゅうっ………♡

あっ、あっ、ああっ♡

頭っ♡ 真っ白っ♡ 変になるっ♡

何もっ、考えられないっ♡

おまんこのことだけっ♡

お兄さんのっ、おちんちんのことばかりい……っ♡

もっと、もっと、もっとおちんちんっ♡

おちんちんでっ、おまんこっ♡

子宮ごとっ、めちやくちやにい……っ♡

うううあっあっあああ……っ♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡

んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡」

×「出た……♡ お兄さんの激しい突き上げ……♡

マリアもそれでイカせてたよね……♡

めいのこともイカせちゃうんだ……♡

JKおまんこ、大人ちんちんの強さ、刻みつけて……♡

自分のものにしちゃうんだ……♡

中にいっぱい出すつもりなんだ……♡」♡

マ「いいよお、出しちゃえ出しちゃえ♡

ほら、ほら、熱いのいっぱい、どくどく出しちゃえ♡

濃いので、めいのこと、孕ましちゃえ♡」

メ「うん……♡ ちんちん、出しちゃえ……♡

射精して……♡ 早く出して、次は、あたしと……♡

あたしのおまんこに、ちんちん、入れて……♡」

マ「ほら、イッちゃえイッちゃえ♡

順番詰まってるよお……♡

出せ、出せ、出せ、出せ……♡

イケ、イケ、イケ、イッケえ……♡」

め「っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

はあっ、んんあ、つくあ……っ♡

んうっああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……っ♡

んっううううう……っ♡

イック♡ イック♡ イクイクっ♡

くうううう……っ♡

おちんちんも、びくびくうってえ……♡

出ちゃうんですね……っ♡

はい♡ はい♡ 出してください♡

中につ♡ いっぱいい……っ♡

んううああああ……っ♡

イクからっ♡ イキますからあっ♡

あっ、あっ、もっ、だめっ♡ 我慢できないっ♡

ごめんなさいっ♡ イキますっ♡ イキますっ♡

イクイクっ♡ イックっ♡

イックっ♡ イックっうううう……っ♡

あっあああああ……っ♡

んううあっ、くうううっ、はっあああ……♡

うっ、ああっ、んうあっ、うううん……♡

熱、い……っ♡ 射精い……っ♡

子宮に、どぶどぶってっ、うううう……っ♡

中出し、精液……っ♡

お腹、重たくて……♡ んっ、ふっ、うううん……♡

っああ……♡「♡」

×「めい……♡ がくがく、痙攣して……♡

すごいイキ方……♡

あたしも、こんなになっちゃうの、かな……♡

マ「なるだろうねえ……♡

ま、すぐにわかるよ♡

あたしがお兄さんのこと、お気ににした理由……♡

その身でさ……♡」

め「っはあ、っはあ、はあ……っ♡

んうあ……っ♡

んっうっ、っふうう……♡

おちんちん……♡ 気持ちよかったあ……♡

はあ、ふう……♡」

メ「やっとあたしの番だよ、お兄さん……♡

パイズリしてる時から、ずっと……♡

待ってたんだから……♡

いっぱい気持ちよくしてよね……♡

もう何回も出したから、大きくならないとか……♡

言わないでよね……っ♡

んうあ……っ♡ はあ、はあ……♡

おまんこ、びちよびちよなの、わかるでしょ……っ♡

お兄さんのせいなんだから……っ♡

責任取って、いっぱい……っ♡

ううっああああ……っ♡

いっぱい、気持ちよく……っ♡

ううううっ、くううううう……っ♡

ひい、あああ、ううあっ……っ♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

んっああっあああ……っ♡

ちんちんっ、おっき……♡

これ、すご……っ♡

やば、い……っ♡ あたし……っ♡

これ、だめ、かもお……っ♡

っあああああ……っ♡」

マ」はあい♡ メシアもお兄さんのおチンポに、

敗北確定♡♡

すごいよねえ、お兄さんって……♡

あたしもホント、一瞬で好きになっちゃったもん♡

p活なんて、適当に相手してればそれで終わりって思ってたのに……♡

今じゃあここまでハマリだもん……♡」

め「うん……♡

あたしも、お兄さんのおちんちん……♡

すぐに好きになっちゃいました……♡

もっと思います……♡

p活も……♡ おまんこえっちも……♡

メシアにも、この気持ちよさ……♡

教えてあげてください……♡」

マ「そうしたらまた、いつでも三人で、

p活してあげられるからねえ……♡

お兄さんも♡好きみたいだし、それが一番じゃん♡

そのためにも……♡

乳首たくさん気持ちよくして……♡

おチンポおつきくしてやないとねえ……♡」

め「うん……♡

乳首たっぷり、ちゅうちゅう吸って、舐めて……♡

気持ちよくしてあげますね……♡」

メ「ううあっああああ……っ♡

待ってっ♡ 待ってっ♡

ちんちんっ♡ おっきっ♡ んっうん……っ♡

中っ、だめっ♡ 入んないっ♡

そんなにどっちゅんっ♡ 奥っ♡

入らないからあ……っ♡

おっきくしないで……っ♡

勃起ダメっ♡ 勃起ダメッ♡

好きになっちゃう、うううう……っ♡

お兄さんのちんちんっ、大好き、なっちゃう……♡

あたしまでっ♡ p活っ♡

ハマっちゃうからあ……っ♡

無理無理っ♡ だめえええ……っ♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、うつふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

んっううう……っ♡

恋人手つなぎえっちでっ、こんなっ♡

奥までえ……♡

んううあああああ……っ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡」

マ「あはっ、ハマっちゃうかもじゃなくって、

もうハマってるのにねえ♡

お兄さんもわかってたでしょ♡

最初におチンポハメた時からさ♡

おまんこ、おチンポベタ惚れで、だいしゅきだいしゅきっって、

ぎゅうぎゅう締め付けてたもんね♡

素直じゃないなあ、メシアはさ♡」

め「でも、そういうところがかわいいんですよ……♡

だから、お兄さん……♡

メシアのおまんこもっといっぱいしてあげて……♡

素直にしてあげてください……♡

自分に正直になれるように……♡

おまんこいっぱい、感じさせてあげてください……♡」

マ「らぶらぶハメ穴」×量産してえ……♡

毎日溜まりまくっちゃうキンタマザーメン♡

一日だって我慢しなくてよくなるようにしちゃおうね♡

め「一日ごとにおまんこ取り替えて、

一生飽きないp活ハメハメ、

できるようにしちゃってください……♡」

メ「ううあっああっああああ……っ♡

突き上げだめっ♡ ちんちん突き上げっ♡

すぎすぎるからっ♡ んっうっうっ……っ♡

お兄さんのっ♡ ぶっといのっ♡

奥まで入ってるっ♡ もう奥っ、いっぱい届いてるのにっ♡

もっと奥う……っ♡ っああああ……っ♡

おまんこぐちゅってっ♡

潰されるっ♡ 潰されてるっ♡

あっ、あっ、あっああああ……っ♡

子宮っ♡ ごりごりっ♡ えぐられっ♡

っああああ……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 好きになっちゃっ♡

なっちゃったっ♡

大好きっ♡ これ好きっ♡ お兄さんっ♡

ちんちんすごいのお……っ♡

んうあっあああ……っ♡

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

はっああっあああ……っ♡」

マ」そろそろイッちゃいそうだね……♡

お兄さんもここまでよくがんばったねえ♡

何回出したっけ……♡

覚えてないや……♡

最後の特濃キンタマザーメン……♡

一番奥に残った、とびきり濃いの……♡

メシアの中に、注いでやって……♡」

め「おちんちんにメロメロの、メシアのおまんこに……♡

熱い精液流し込んで……♡

オナホおまんこに作り変えちゃってくださいね……♡

これからずっと、お兄さんのおちんちん、

ハメてもらわないと満足できなくなったおまんこに……♡

最初の一発……♡ 注いで上げてください……♡」

マ「ほら、出して、出して♡

おチンポぴゅっぴゅ♡

かっこいいお射精……♡ 最後の中出し……♡

出して、出して……♡」

め「おちんちんイッてください……♡

濃おいの、熱いの……♡

出してくださいあい……♡

はい、はい、はい、はい……♡」

メ「あっああああ……っ♡

待ってっ♡ 出さないでっ♡

今出されたらダメなのっ♡

イクからっ♡ おまんこイグからっ♡

今っ、中出しなんてされたらっ♡

戻れなくなるっ♡ ダメになるっ♡

おまんこダメになるっ♡

頭の中までおまんこになるう……っ♡

んうううあっ、はっああああ……っ♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

あっあああ……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ ちんちん好きっ♡

おまんこセックスっ♡

お兄さんのちんちんっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

だめっ、だっめえっ♡ っあっああああ……っ♡

んううああっ、はっああっああ……っ♡

イクイクイクイクっ♡

イククっ♡ イククううう……っ♡

んううあっああああ……っ♡ ううああっ♡

んううあっああああ……っ♡

ううううううああ……っ♡

奥っ、奥にっ♡ びゅるびゅるうっ♡

熱いのがあ……♡

んっ、いっ、んっひっ♡ んっうっ……っ♡

中出し……っ♡ すっ、いっばい……っ♡

はっああああ……♡

やっ♡ あ……っ♡ おまんこ、気持ちいい……♡

お兄さんの、ちんちん……♡

すっすぎる、よお……♡

っはあ、っはあ、っはあ、んっうっ……♡

ふう、ふう……♡

んうあ……♡ はあ、はあ……♡」

マ「んふふ……♡

どうだった、お兄さん？

「生まんこ、三連発♡

あたしたちも相当気持ちよかったけど……♡

お兄さんでもしょ？」

め「p活の気持ちよさ、わかっちゃいましたから……♡

これからはマリアちゃんだけじゃなくて、私たちとも……♡

遊んでくれますよね……♡」

×「あたし、も……♡

あたしも、もっと、お兄さんといっしょに……♡

ふう、ふう、ふっう……♡」

マ「ふふ、素直になってくれたねえ♡

じゃ、お兄さん♡

また次の連絡、待ってるよ♡

こっちから呼び出すこともあるかもしれないけど……♡

その時はよろしくね♡

まだまだいっぱい、楽しく遊ぼうねえ……♡

んふふふふ……♡」

● 第5章

め「あは……っ♡

待ってましたよ、お兄さん♡

さあ、中へどうぞ。ふふふ……♡

ふふふ……♡

私、今日が来るのをずっと待ってました……♡

マリアちゃんだけじゃなくて、私やメシアとも、

p活するようになって……♡

最近のお兄さん、とっても忙しそうでしたから……♡

やっと私の番が巡ってきて、とってもうれしいです♡
ふふふ……♡

あの……♡ お兄さん……♡

早速なんですけど……♡

始めちゃって、いいですか……？

私……♡ 待ちくたびれちゃいました……♡

来る日も来る日も、

お兄さんとのえっちのことばかり、考えて……♡

でも、絶対オナニーだけはしないようにって、

決めてましたから……♡

だからもう、今……♡

お兄さんの顔を見るだけで……♡

おまんこ熱くなっちゃって……♡

身体の発情、止まらなくて……♡

ふふふ……♡

早くおちんちん、してほしいんです……♡

お兄さんのかっこいいおちんちんで、

発情「まんこ、犯してほしいんです……♡

もしかしたら、もっといちゃいちゃとか、

したかったのかもしれないですけど……♡

ごめんなさい……♡

いちゃいちゃらぶらぶするの……♡

えっちながらで、お願いします……♡

まずはおちんちん、私の中に……♡

大人おちんちん、ずっぶりハメて……♡

お兄さんのこと、感じさせてください……♡

ふふふ……♡

では……♡

騎乗位おまんこで、おちんちん……♡

お迎えしちゃいますね……♡

あは……♡

こんなに大きく……♡

お兄さんも、私とえっちしたくって……♡

おチンポ大きくしてくれてるんですね……♡

はい、ありがとうございます……♡

それなら……♡

感謝の気持ちをいっぱい込めて……♡

えっちなべろちゅー、いっぱいしながら、

おまんこぬっぶん……♡ しちゃいますね……♡

んうぁ……♡

っは……っ♡

はっ、ふっ、ふっううう……♡

ああ、お兄さんのおちんちん……♡

ちゅーしながら入れたら、幸せすぎて、

おまんこ、甘イキしちゃいました……♡

気付いてました……？ おまんこ、ぎゅっって……♡

おちんちん、ぎゅっぎゅって、しちゃったの……♡

ふふふ……♡

お兄さんのおちんちんによわよわの、

いやらしい「おまんこ」……♡

今日もたっぷり、味わってくださいね……♡

んう……っ♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、んっく、くう……♡

んんんう……♡ んっああああ♡ んっううう♡

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

っあっああ……っ♡

お兄さん……っ♡ おちんちんっ、硬い……♡

んっ、あっ♡

ガチガチっ♡ 好きですっ♡

おちんちん好きっ♡ おちんちんっ、熱くてっ♡

おまんこっ、喜んでえ……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやんっ♡

んうあ、んっ、ん、んう、んっ……♡

んっ、ふっ、ふっ、ふううう……♡

はっあっあああ……♡

どうですか、お兄さん……♡

私との、セックス……♡

あの日……っ♡ 初めてマリアちゃんに連れられて……♡

お兄さんと会った日から……っ♡

もう、何度も、セックス……♡ しましたけど……♡

私のおまんこ、好きになってくれましたか……？

私のおまんこは、んうああ……♡

お兄さんのおちんちん、満足させて、あげられていますか……？

んっ、んっ、んっうんっ、はっあああん……♡

あは……っ♡

はい……っ♡ おまんこ、気持ちいいんですね……♡

私のおまんこ、好きって言ってくれるんですね……♡

ありがとうございます、お兄さん……♡

私も好きです……♡

大人おちんちん、大好きです……っ♡

やん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡

んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

ん、あん、はあ、ああん、うん♡

んっううん……♡

あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、あん、うん、うつぶ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああんっ♡

はっ、はっ、はっ、んううん……♡

お兄さんと、えっちするようになってから……♡

私もっ、セックス……♡ 上手に、なりましたから……♡

おまんこでおちんちん、ぎゅうぎゅうって、締め付けるのも……♡

上手になってえ……♡

ううううん……っ♡ はっ、ふっ、はっああ……♡

おまんこ、グラインドでえ……♡

おちんちん、ぐにゅぐにゅって……♡ んうあ……♡

おまんこの中で、優しくいじめてあげるのも♡

得意になったんですよ……♡ あはあ……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、んあん……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ♡

んいいい……♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……♡

お兄さんのために、いっぱい覚えまして……♡

お兄さんと気持ちよく、えっちしたくって……♡

お兄さんのために、いっぱい、してあげたくってえ……♡

えっちなお勉強、がんばっちゃいました……♡

だからあ……♡

ご褒美、ください……♡

私のこと、いっぱい褒めてください……♡

お兄さんに褒めてもらえたら、私……♡

すっごくうれしいんです……♡

あ……♡

頭、撫で撫でって……♡

ふふ、ふふふふふ………♡

うれしいです、お兄さん………♡

あはあ………♡

っあああ………♡

はっ、はあっ、んっあっ、はあああ………♡

んっ、んっ、んっ、んうう………♡

っふう、ふう、っはあ、はあ………♡

おちんちんっ♡ 突き上げっ♡ うううん………♡

やっ、やあっ♡

頭撫で撫でもらいながらっ♡ 奥っ♡

おまんこの奥っ♡ ずんずんっ♡

すごいですっ♡ はっあああ………♡

幸せいっばいっ♡ 心も体もっ♡ 幸せになってっ♡

あっ、あっ、イクっ♡ おまんこイクっ♡

撫で撫でセックスっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡ 好きいい………♡

ううあああ………♡

はいっ♡ はいっ♡ 出してくださいっ♡

お射精どうぞ………♡ 中っ♡ 出してください………♡

今日のためにいっぱい溜め込んでくれたっ♡

熱々おちんちんミルクう……♡

私のおまんこにっ♡ 「子宮にいっぱい、注いでください……っ♡

中っ、開いてますから……っ♡

お兄さんのためにっ、開けておきましたからあ……♡

子宮の入り口からっ、お兄さんの大人ザーメン……♡

種付け精子……♡

いっぱい注いでくださあい……♡

んうあああ……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

あっく、んううう……っ♡

んっひいっ、はああ……っ♡

イック♡ イック♡ イック♡ イックうううう……っ♡

んっううんあ……っ♡

はっああああ……っ♡

イクイクイクイクっ♡ うううんっ♡

イックうううっううう……っ♡

んうううあっ♡ はっああああ……っ♡

あっ、あっ、どくどく、いっぱい……♡

んっ、あっ、あっあ、んっうううん……♡

精液、出ます……♡

奥にたくさん、とろっとろのお汁……♡

びゅるびゅるびゅるう……♡

ふっう、ふっう、ふっう、くうううう……っ♡

はっ、はっ、はっ、んっはあ……♡

っはあ……♡ はあ、はあ、はあ……♡

気持ちいい……♡ やっぱり、お兄さんとするえっち……♡

すっごく……♡

あ……っ♡

んっううん……♡ ふう、はあ……♡ あは……♡

押し倒されちゃいました……♡

お兄さん……♡ まだ、おちんちん……♡

物足りないんですね……♡

私のおまんこ、下手くそだったから……♡

まだまだ、お兄さんのおちんちん、

満足させてあげられないから……♡

それならどうぞ、お兄さん……♡

今度はあなたの方から、」おまんこ……♡

私のこと、性処理ハメ穴オナホみたいにしていいですから……♡

ばんぱんのキンタマ、空っぽになるまで……♡

たくさん、たくさん……♡

犯しまくってください……♡

んっう……♡

ううあっあああ……っ♡

んっ、あっ、おっ、おっき……♡

一回出したのに……♡ まだ、こんな……♡

ふっ、ふっ、ふっうう……っ♡

っあっあああ……っ♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

っはあっ、っはああ……っ♡

あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

おちんちんっ♡ どちゅどちゅっ♡

あっ、うっ、うっ、んっお……♡

すごいっ♡ ですっ♡ お兄さん……っ♡ っああ……っ♡

ぱんぱんぱんぱんっ♡

ばちゅばちゅばちゅばちゅう……♡

おちんちんっ、おまんこの奥っ♡

叩きつけ交尾い……♡ はっああ……♡

ぶっといおちんちんでっ♡ おまんこっ♡ 全部っ♡

ハメ穴っ♡ ひだひだっ♡

ザーメンたっぷり注がれた子宮もっ♡ 全部っ♡

犯されてますうう……♡

んっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ、ふうっ、っはあっ♡

あっ、あっ、好きっ♡ 好きっ♡

種付け交尾っ♡

おちんちんっ♡ 私のことっ♡ 孕ませるぞって……っ♡

赤ちゃん孕ませようとしてくるっ♡

おちんちんっ♡ 強いっ♡ 勝てないっ♡

こんなっ♡ 孕めっ♡ 孕めってっ♡

大人の全力おちんちんっ♡

孕ませ交尾っ♡ 強すぎてえ……♡

んっううん……っ♡

ああああ……っ♡ んっくうあ♡ んっいい……♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……っ♡

んうあああっ、ああああっ、あっ、うああっ♡

こんなおちんちんっ♡ 『相手にしちゃっ♡

いけません……♡

こんなっ♡ 大人のっ♡ 全力孕ませえ……♡

逆らえない……っ♡ 抗えない……っ♡

赤ちゃんっ、妊娠……♡ したくなっちゃいます、からあ……♡

ああっ、んうあああ……っ♡ はっ、はあっ♡

ふうううっ、んうあああ……っ♡

はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ♡

あっ、あっ、お兄さ……っ♡

っへああ……♡

っあああ……♡

孕ませべろちゅー……♡

だめ、ですう……♡

お口の中までっ♡ 幸せになってっ♡

もっ、ホントにっ♡ 赤ちゃんっ♡

産みたく、なっちゃいますう……っ♡

あああっ、あああっ、っんんっ♡

っああっ、っんっ、んんっあっんんいっ♡

いっっ、いっああっ、あっ、っんん……っ♡

んっううううっああっ、っあっ♡

ああっ、っんんっ、んんっ♡

あっ、あああっ、あああっんんっああっ♡

んっううん……っ♡

子宮っ♡ おちんちんっ、吸い付いてっ♡

んっいいい……っ♡

精子っ♡ 私の方からっ♡

ちようだいっ♡ ちようだいってっ♡

っあああ……っ♡

あんんっ、あっ、あっんんっ、っいいっ♡

っいいっ、いいいああ……っ♡

んっ、んんっうううっ、うああっ、あああああんっ、んっ♡

精子っ♡ 欲しがってっ♡

おまんこ甘えてっ♡ んっううう……っ♡

私の身体っ♡ 赤ちゃんっ♡

孕もうとしちゃってる……っ♡

お兄さんの孕ませ種付けえっち……っ♡

受け入れてえ……っ♡

あああ……っ♡

あっ、あっ、っあああっ、んっ、ああああんっ♡

んっあああっんっ、んいいっ、いいいいいい……っ♡

いいっあっ、んんんうっ、うっああっ♡

あああああっ、ああんっ、んんっ♡

っおお……っ♡

イック♡ イックっ♡ 孕ませピストンっ♡

好きっ♡ 好きっ♡

子宮押し潰しっ♡ 孕ませ交尾っ♡

好きいいいい……っ♡

んんんああんっ、あああっんんいいいいいいっ♡

っああっ、んんんっ、っううっ、うあっ、ああ……っ♡

んっ、んっあぁっ、あぁっ、っんっ、っあぁっ

っあぁあぁ……っ♡

はいっ♡ はいっ♡ 孕ませてっ♡ くださいっ♡

赤ちゃん汁っ♡ 妊娠ザー汁っ♡

注いでください……っ♡ ううう……っ♡

イクからっ♡ イキますからっ♡

おまんこイクからっ♡

中出し射精いい……っ♡

あっ♡ あっ♡ イック♡ イックっ♡

孕むっ♡ 赤ちゃんデキるっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっあぁ……っ♡

ううっあぁあっ、はっあぁっあぁあ……っ♡

熱々、どくどく……っ♡

子作りザーメン……っ♡ どぶどぶどっぶう……っ♡

ううううん……っ♡

熱い、です……っ♡ 子宮、ぽかぽかぁ……っ♡

あっ、んっ、あっ、はっあぁあ……♡

はっあ、はっあ、はっあ、っあぁあ……っ♡

お兄さん……♡ つふう、つふう、ふう……♡

っああああ……っー？

お兄さっ！？ んっううう……♡

あんんいついつ、っああああっん♡

んううっ、うああっ、あっ、あっん……♡

んあっ、っんっ、んあっ、っんっ、んいいいいいい♡

待って♡ 待って♡

まだ♡ イッてます、からあ……♡

子宮♡ お兄さんの赤ちゃん♡

孕んでる最中なのに……♡

追い打ちピストン……♡

っああああ……♡

っあっ、ああああ……♡

うあっ、あんっ、ああああっん♡

ああっ、あんっ、っいいいい……♡

好き♡ 好き♡ こんな♡ 容赦ない♡

大人ピストン……♡

大好きです♡ カッコいいです♡

お兄さんっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

好き好き好き好きいい……っ♡

んっううう……♡

あっ、あっ、っあああっ、んうああ……♡

うあああっ、んんんっあっ、ああっんっ♡

んんああんっ、いいいいっ、いいいいあああ……っ♡

んうあっ、ああああっ、んうううあっ♡

だいしゅきっ♡ だいしゅきっ♡

お兄さんっ♡ しゅきいい……っ♡

ぎゅうって、ぎゅうううってえ……♡

お兄さんのことっ♡ 抱き着いて……っ♡

全身でっ♡ 精子おねだりっ♡ しちゃってます……♡

孕ませてっ♡ 孕ませてっ♡♡

子宮で精子っ♡ ごくごく飲みたいっ♡

全身がっ、求めてえ……♡

っうううあっあああ……っ♡

ううあっあああ……っ♡

好き好き好き好きっ♡ 大好きっ♡

好きいいいい……っ♡

あぁっ、はっあぁぁ……っ♡

あんっ、んっ、あんっ、あんっ、んっ、あぁんっ♡

あんっ、あぁあんっ、あんっ、あんっ♡

ううううん……っ♡

イック♡ イック♡ またイクっ♡

イギますっ♡ っあぁぁ……っ♡

おまんこイキますっ♡

子宮の入り口ぱっくり開いてっ♡

アクメしますからっ♡

また出して……っ♡ 孕ませ種付け中出しっ♡

どうぞお……っ♡

絶対絶対♡ 孕ませるぞって……♡

赤ちゃん植え付け射精い……♡

お願いしますっ……っ♡

あんっ、あんっ、んっ、あんっ、あんっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、あぁんっ、んっ、あぁんっ♡

っおお……っ♡

イック♡ イック♡ イグイグっ、はっあああ……っ♡

あっ、んっ、あっ、っあっあああ……っ♡

お兄さん……っ♡

好きいいいい……っ♡

ううっ、あっ、はっああっ、んっううう……っ♡

んううううっ♡ ふんううううう……っ♡

んっ、ふっ、んっふっ、んううう……っ♡

はあ、はあ、はあ……っ♡

お兄さん……♡

子種汁、いっぱいプレゼントしてくれて……♡

ありがとございました……♡

ふう、はあ……♡

でも……♡ 本当に妊娠したら、どうしましょうか……♡

その時は責任……♡ 取ってください？

なあんで……♡ ふふふふふ……♡

冗談ですよ♡

安心して下さい……♡

今日は大丈夫な日ですから♡……たぶん♡

● 第6章

メ「あゝ、面白かったあ。

ありがと、お兄さん。

映画代、払ってくれて。

ご飯もおいしかったし、いつもこういう感じなら、

お兄さんとお出かけするのも楽しいかも。

家まで送って届けてくれるし、

大人の人と遊ぶって、確かにいいことばかりかも。

マリアがハマっちゃうのもわかるなあ。んふふ……。

あ、ここだよ、ここ。

ここがあたしんち。

ね、まだ時間ある？ ちょっと上がっててよ。

お礼もしたいし……お茶の一杯でも飲んでって。

うん、じゃ、入って入ってえ。

っは♡ っは♡ はぁ……っ♡

お兄さん……っ♡

っふうう……♡

あは……♡ ちんちん、ぎんっぎんじゃん……♡

涼しい顔しといて……♡

家に入るなりすぐ、ぶっちゅーってキス、してくるしい……♡

普通のデートっぽいことしといて、

ホントはあたしとエロいことしたかっただけって、

丸わかりだよ……♡ んふふ……♡

っはぁ……♡

え？ あたしの方こそ？

全然違うし……♡

あたしは別に、そんなんじゃあなかったし……♡

デート中、ずっと……♡

お兄さんといっつ、えっちするんだろう、とか……♡

いつトイレ連れ込まれてパコられるんだろう、とか……♡

最後はラブホ行くのかなあ、とか……♡

考えてなかったしい……♡

家まで送ってくれるって聞いた時……♡

自分ちでするんだって、ドキドキして……♡

おまんこ濡らしちゃってたとか……♡

ないんだからね……♡

っはあ、っはあ、はあ……♡

ほら、お兄さん……♡ ここ……♡

いい加減どうにかしないと、ズボン、壊れちゃうよ……♡

脱がしてあげないと……♡

っふう、っふう、ふっう……♡

ああ、お兄さんのちんちん……♡

すごい大きい……♡

匂い……♡ ズボンの中で、蒸れてたせい……？

すごい濃くなって……♡

はっ、はっ、はあ……♡

鼻、来る……っ♡ 匂い、刺さるう……♡

ふっうううう……っ♡

はあ、ふう、はあ、はあ、んはあ……♡

お兄さん……♡

ちんちん、ごしごし……♡

気持ちいい……？

くっさいちんちん、あたしにしごしごしてもらうの……♡

気持ちいい……？

うん、よかった……♡

ふふふ……♡

だって、いっぱい気持ちよくしてあげないとさ……♡

今日のお礼、できないもん……♡

お兄さんにお金払ってばっかだったから……♡

なんか、申し訳なくってね……♡

だからせめて、このぐらい……♡

ちんちん、いいこいいこっしてあげるぐらいは……♡

ちやあんと……ね♡

はあ、はあ、はあ……♡

ああ、熱い……♡ 大きくなって……♡

どんどんそそり立ってく……♡

どんどんかっこよくなっちゃってる……♡

だめ……♡ 思い出しちゃう……♡

お兄さんに、これでもらってる時のこと……♡

あたしのおまんこに、ずぶうってしてもらって……♡

いつも頭、真っ白になって……♡

お兄さんのことしか考えられなくなって……♡

中に、どっぶんって……♡

濃厚なの、注いでもらうことしか、頭の中、なくなっちゃって……♡

気をつけないとって思ってるのに……♡

ダメみたい……♡

ちんちんしこしこしてるだけなのに、あたし……♡

また、おまんこきゅんきゅん、うずきだして……♡

発情止まなくなっちゃってえ……♡

はっあ、はっあ、はっあ、っああ……♡

お兄さん……♡

欲しい……♡ ちんちん、また、いっぱい欲しい……♡

お兄さんとおえっちしたい……♡

ちんちんずぼずぼしてほしい……♡

おまんこハメてほしいよお……♡

ほら、ここ……♡

お兄さんのキンタマ……♡

こんなにばんっぱんで……♡

あたしの中に注ぎたい……♡

精子いっぱいぶちこみたいよおって……♡

膨らんじゃってえ……♡

はえ……？ 出ちゃう……？

あは♡ もうイッちゃうの？

軽くしこしこしてあげてるだけなのに……♡

キンタマ撫で撫でしてあげただけで、

イッちやいそうなんだ……♡

うん、いいよ……♡

いっぱい溜めてくれたんだもんね……♡

我慢しすぎて、溢れちやいそうなんでしょ？

なら、いいよ……♡

出して……♡ いっぱい出して……♡

熱々ザーメンミルク……♡

あたしの手の中で、たくさん出してえ……♡

いっぱいぴゅっぴゅしてえ……♡

出てる、出てる……♡ 熱いの、ぶっぴゅう……♡

もっといっぱい、出していいよ……♡

っはぁ……♡ ふう、はぁ、ふう、ふう……♡

玄関……♡ えっちな匂いでいっぱいになっちゃった……♡

どうしょ、これ……♡

これじゃあたし、家に入る度に、エッチな気分になっちゃうよ……♡

匂い、取れるかなぁ……♡ んふふ……♡

ふう、ふう……♡

うん……♡ わかってる……♡

ベッド、行こ……♡ 今度はあたしのことも……♡

たくさん、気持ちよくしてね……♡

ふう、はぁ、ふう、ふう……♡

んっうん……♡ はぁ、はぁ……♡

お兄さん……♡

うん、来て……♡

ちんちん、また、いっぱいあたしの中……♡

ずんずんどちゅどちゅ、たくさん、動かして……♡

んっぁ……っ♡

くっううん……♡

ふっ♡ ふっ♡ ふっ♡ ふっうう……っ♡

ちんちん、おっき……♡

おまんこ、目一杯、拡がって……♡

っぁぁ……♡ 大人ちんちん、やばい、ってえ……♡

これ、また、なっちゃう……♡

頭の中、真っ白で……♡

お兄さんだけでいっぱい……♡

えっちすることしか、考えられなくなっちゃう……っ♡

はぁ、はぁ、はっぁぁ……♡

あんっ、んっ、ぁぁぁ……っ♡

ぁあんっ、ぁぁあんっ、あんっ、ぁあんっ、あつく……っ♡

んっ、あんっ、ぁぁぁあんっ、ぁぁあんっ♡

ぁあんっ、ぁぁぁあんっ、あんっ♡

んっうう……っ♡

ぱんぱん、ぱんぱん……っ♡

ちんちんっ、今日もっ♡ すごい勢い……っ♡

んっあああ……っ♡

あんっ、ああんっ、うあんっ、ああんっ、うんっ、んっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、あうんっ、あんっ、んっ♡

お兄さんのっ、腰振り……っ♡

いっつも、えぐすぎ……っ♡

JK相手に、本気の大人のピストン……っ♡

セックスなんて、

ちょっとした遊びにしか思っていないような女の子に……っ♡

こんなに危ない遊びなんだぞって、教えてくる……っ♡

凶悪ちんちんピストン……♡

うあんっ、あんっ、うんっ、あんっ、んっ、うあんっ、ああんっ♡

あんっ、あああうああんっ、ああうああんっ♡

っあああ……っ♡

だめっ♡ だめっ♡ やっぱこれっ♡

すごすぎるう……♡

大人セックスっ、だめなのっ♡ だめえ……♡

バカになっちゃう……♡

頭の中までドピンクになっちゃう……♡

こんなちんちん、知っちゃったらっ、

いっぱい中♡ 奥までいっぱい♡

ばちゅばちゅばちゅ突いてもらうことしか♡

考えられなくなるう……♡

うああんっ、ああうあんっ、ああんっ、ううん……っ♡

ああんっ、んっ、うあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

んっ、うああんっ、ああうんっ、ああんっ、あうう……っ♡

ああああうんっ、あんっ、あんっ、うんっ、うんっ♡

はっああああ……♡

毎日、毎日、お兄さんのこと……♡

次はいつ会えるんだろうって……♡

次はいつえっちできるんだろうってえ……♡

そういうことばかり考えるようになったちゃうからあ……♡

あ♡♡ あ♡♡ あ♡♡ あ♡ああ……っ♡

んっ、ああんっ、うんっ、あうんっ、んっ、あんっ♡

んっ、うんっ、んっ、っくう……っ♡

んっう……っ♡

っああああ……っ♡

キスハメっ、すっ……♡

んっううあっ♡ あっちもこっちも、お兄さんと繋がって……♡

いっぱい中っ、掻き回してもらうのっ、やばいのお……♡

んっうううん……♡

んっ、ああうあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

ああんっ、うあんっ、ああうあああ……っ♡

っあああ……っ♡

お腹の中っ、お兄さんのちんちんでいっぱい……っ♡

頭の中もっ♡ お兄さんにちんちんしてもらうことばかりでえ……♡

んんんあ……っ♡ はっああん……♡

あんっ♡ んっあんっ♡ んううっあああ……♡ うっ♡ くっ♡

あたしっ、もう……♡

お兄さんに、ガチ恋しちゃってるみたいになっ……っ♡

んっううううん……っ♡

ふうああっ♡ んっひいいいん……♡

んううああっあああ……♡

んうああっ♡ うっあっあああ♡ んううああっ♡

んっひい♡ ふううううう♡ くうあっ♡ くううう……っ♡

あっ、んっ、あっ、んううああ……っ♡

お兄さんっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

ちんちん好き♡ 好きいいい……っ♡

ううあっあああああ……っ♡

ずぼずぼいっぱいっ♡

んうあっ、んうううっ♡ んうっくううう……っ♡

んいいいいい……っ♡ んっひいっ♡

うああ……っ♡ んっいああっ♡ あっああっ、うううう……っ♡

ういいいいい……っ♡ いいっ♡ んっい……♡

はっあああ……っ♡ うっくうああっ♡ はっあああ……♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡

奥っ♡ すごいっ♡ 奥っ♡

ちんちんっ、ぐちゅううって♡

奥っ、当たってえ……♡

んっううう……♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっあああ……♡

わかったっ♡ わかったっ♡

これっ♡ お兄さんっ♡ っううん………♡

種付けっ♡ しようとしてるでしょっ♡

「おまんこっ♡

中出しザーメンぶちこんでっ♡

赤ちゃん孕ますってえ………♡

ううううん………♡

そんなことダメなのになっ♡

しちゃいけないのになっ♡

「孕ませるとかさ♡ 鬼畜っ♡ 変態っ♡

犯罪なのになっ………♡

ううううん………♡

あたしっ♡ あたしのおまんこっ♡

ちんちん叩きつけられてる子宮もお………♡

っああああ………♡

全部、オッケーって………♡

許しちゃってる………♡ 受け入れちゃってるうう………♡

あっああああ………♡

んうういいいい♡ んひいん♡ はっああ………♡

うううああっ♡ うううああ……っ♡

お兄さんっ♡ 出してっ♡ 出してっ♡

せーしっ♡ いっぱいっ、奥っ、ちようだあい……♡

んううあっ♡ くうっう♡

んううあああっ♡ あっあああ……♡

っううううう……っ♡

イクっ、からあ……♡ おまんこイクからっ♡

イギそ、だからあ……っ♡

ザーメンぶっぴゅん出して……っ♡

たくさん出して、出してっ♡ ちんちんびゅーってしてえ……♡

んうあああ……っ♡

イクイクイクイクっ♡ んいっくっ♡

はっあああ……っ♡

あっ♡ あっ♡ あっ、ああああ……♡

お兄さんっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡ 好っき♡

好きいいいい……っ♡

んっ、あっ、あっ、あっ、はあっあああ……っ♡

んっううっ、ふうううう……っ♡

はっ、はっ、はっ、くうううあ……っ♡

熱い、よお……っ♡

中出し、びゅびゅびゅう……♡

ちんちんびくびく跳ねて……♡

奥にいっぱい、注がれて……っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふっうう……っ♡

お兄さん……♡

はっ、はっ、はあ……♡

あ……っ♡

待って……♡ まだ、抜かないで……♡

はあ、はあ……♡

あは……♡ ほら、こうしてぎゅっしてしちゃえば……♡

逃げられないでしょお？ んふふ……♡

あたし、まだ……♡ 満足してないよ……？

「おまんこ、この程度じゃあ孕まないんだから……♡

もっと、絶対、確実に妊娠するぞってぐらい、

注いでもらわないとお……♡

今日は返してあげないー

っ おお……っ!?

ん っ い っ ♡ う っ く う っ ♡ ん う う あ あ ……っ ♡

ん う う あ っ あ あ っ ♡ ん い い っ あ っ ♡ あ あ ……っ ♡

う っ、あ っ、お兄さ っ ♡ 待……っ ♡

ん う う あ あ っ ♡ う っ く う う あ っ ♡ は っ あ あ ん ……っ ♡

あ っ あ ん っ ♡ う う あ あ っ ♡ ふ ん い い い ……っ ♡

う う う う う ん ……っ ♡

ごめ っ、許して っ ♡ ちんちん っ、激し っ ♡

調子乗 っ ちゃったの っ ♡

お兄さんのちんちん っ、気持ちよく っ っ ♡

も っ っ としてほしく っ っ っ ♡

わがまま言 っ ちゃったのお……っ ♡

っ あ あ あ あ ……っ ♡

ごめんなさい っ ♡ ごめんなさい っ ♡

謝るから っ、許し、 っ て え ……っ ♡

う う う う ん ……っ ♡

じゃないと っ ♡ これ っ ♡

奥 っ ♡ また奥 っ ♡

ばっちゅんばっちゅんっ♡ 硬いちんちんっ♡

突き刺すみたいになっ♡ 深いところっ、ピストンっ♡

んっううんあああ……っ♡

んっいいっ♡ いいっ♡ んっひいっ♡ はっあああ……♡

んううあああ……っ♡ うっああっ♡ ふううっ♡

お兄さんっ♡ だめっ♡

もうちんちんいらなっ♡

強すぎるっ♡ だめっ♡ だめえっ♡

んうあああ……っ♡

んううっううっ……っ♡ うっああっ♡ んっひい♡

ああっあああ……♡ ああっあああっ♡ んうあああ……♡

ふっ、ふっ、ふう、んっううっ……♡

へっえ……？

や、やめたくてもやめられない……？

あ、あたしが、足……ぎゅって、しちやってるから……？

はっ、はっ、は……♡

あは、ホントだ……♡

あたし、さっきからずっと……♡

お兄さんのこと、だあい好きって……♡

抱きしめたまんまだった……♡

ホントはちんちん、抜いて欲しくないって言うの……♡

バレちゃったあ……♡

んっううん……っ♡

だってっ♡　だってっ♡　だってえ……♡

まだっ、「×」なのにい……っ♡

んっううあああ……っ♡

大人ちんちンドハマリしてっ♡

孕ませ交尾っ♡　完全に受け入れちゃってるってえ……♡

そんなの、ダメじゃん……♡

気持ちいいけど……っ♡　お兄さんとの本気セックスっ♡

楽しいけどお……っ♡

そんなのダメなのにつ♡　ダメなのにつ♡

ダメ、だからあ……っ♡

やめなといけないのに……っ♡

ああああ……っ♡

んっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ♡

うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

でも好きっ♡ 大好きっ♡

お兄さんのちんちんっ♡

「孕ませようとしてくる大人ちんちんっ♡

あっついっ♡ おっきいのっ♡

ぶっといのお……っ♡

好きだからあ……っ♡ んっううん……♡

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

お兄さんっ♡ 出して……っ♡

また射精……♡ 熱いの奥にっ♡ いっぱい注いで……♡

欲しいのっ♡ 奥っ♡ びゅーびゅーっ♡

たくさんん……っ♡

いっぱい出してっ、熱いの出してっ♡

ホントに孕んじやうぶらしいのっ♡

あっついせーしっ♡ いっぱいちょうだあい……♡

んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ………♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや♡

ううううう………っ♡

イック♡ イック♡ 子宮っ♡ アクメっ♡

お兄さんの赤ちゃん汁っ♡

受け止めながらっ♡ イキたいのお………っ♡

っあああああ………っ♡

んうううっ、ふうううっ♡

んっくうあっ♡ っああああ………っ♡

イック♡ イック♡ イクイクっ♡

うっくううう………っ♡

んっ、あっ、やっ、やっあああ………っ♡

イック♡ イック♡ イックう♡ んううああああ………っ♡

いっぐううううう………っ♡

んううあっ、んっいいい………♡

ふっ、あっ、あっっっ♡ 熱いのっ♡

またいっばい………♡ うううう………っ♡

お腹、重たいの………♡

どろどろ、ゼリーみたいなザーメン……♡

たっぷり出してもらえてる……♡

お兄さん……♡ 好き……♡

大好き、大好き……♡

大好きい……♡

っはぁ、っはぁ、はぁ、はぁぁぁ……♡

ああ……♡

p活、最高……♡

あたし、もう……♡

お兄さん抜きの休日とか……♡

考えられないかも……♡

ふふ……♡ んふふふふ……♡」

● 第7章

め「お兄さん……♡」

×「お兄さん……♡」

め「今日もおちんちん、元気いっぱいですね……♡

キンタマもこんなに膨らんで……♡

二人いっしょに呼び出したわけですよね……♡」

×「キンタマこんなにぱんぱんだから、

自分ちにあたしたちを呼んだの？

それとも、こうしてJKサンドイッチされてるから、

こんなにちんちん、あつつあつなの？

どっちなのかなあ……♡」

め「どっちだとしても、処理してあげないと、

辛そうですから……♡

いっぱいしこしこしてあげますね……♡」

メ「ちんちんこきこき……♡

しこしこしゅっしゅう……♡

気持ちいい、お兄さん？ んふ……♡」

め「はい？……おっぱい、欲しいんですか？

あは♡ ええ、いいですよ、ほら……♡

おっぱい触りながら、おちんちんしごいてもらいだいんですね♡」

メ「めいと比べたら、アレだけど……♡

お兄さんが見たいって言うんなら、

いいよ……♡

いっぱい揉んでもらえれば、それだけ、

大きくなると言うし……♡

たくさん触ってーんひゃっ！？

んあっ、んっうう……っ！？」

め「あは……っ♡ お兄さん……♡

触るんじゃないかって、おっぱいちゅうちゅう……♡

メシアの乳首、ぱっくんしちゃって……♡

おいしいですか？

メシアのかわいいおっぱい、ちゅっぱちゅばあ……♡「

メ「んっうう……♡舌、動いて……っ♡

乳首ぺろぺろ、舐められてっ♡

んっ、ああ……っ♡

やっぱお兄さん、変態っぽいよお……♡

あっ、んっ、あっ、はっああ……♡「

め「んっうっ♡

今度はこっちっ、っああんっ♡

ちゅうちゅう、ちゅっちゅう……♡

はっああ……♡ 赤ちゃんみたいに、

おっぱい飲んで……♡

おちんちんこんなに熱くして……♡「

メ「左右からJKに挟まれて……♡

おっぱい吸い比べ……♡

それでこんなにちんちんおっきく……♡

我慢汁だらっただらで……♡

おっぱい好きすぎでしょ、お兄さん……♡

んっぁ……♡ また、あたしの……っ♡」

め「ふふ……♡

おっぱい好きなんですネ……♡

あったかくって、柔らかくって……♡

触っても揉んでも、吸ってもよしの、

えっちなおっぱい……♡

JKおっぱい、好きに出来て……♡

幸せですねえ……♡」

メ「おっぱいに囲まれて、幸せいっぱい……♡

でも、そのにやけ面、ちょっとキモいよ……♡

あたしたち以外に見せたら、

嫌われちゃうよ……♡ んうん……♡

はっ、はっ、んっ、はぁ……♡」

め「んうぁ……♡

だから、今のうちに……♡

好きに出来るおっぱいが目の前にあるうちに……♡

たくさん楽しんじゃうんですね……♡

いっぱいおっぱい楽しんで……♡

おちんちん気持ちよくしてえ……♡

んっ、ふう、はっああ……♡」

メ「ちんちんびくびく暴れすぎ……♡

これ、手でしこしこするの、難しくなってきた……♡

暴れるの抑えるので、精一杯……♡

ちんちん、エロすぎ……♡」

め「それなら……♡

お兄さんの大好きなおっぱいで……♡

また、パイズリ……♡ してあげましょうか♡

これなら暴れるおちんちんも、抑えられますから♡」

メ「めい……。それ、あたしの出番ないじゃん……。

めいはさあ、パイズリできるぐらい、

クソデカおっぱい持つてるからいいけど……っ。

あたしはこんな……。くうう……。っ。」

め「なら、メシアはおちんちんフェラしてよ。

私がパイズリしてるから、メシアはお口で。

ね？」

メ「……まあ、それならいいけど……。

じゃあ、そういう感じで行くよ、お兄さん♡

ほら、めい♡」

め「うん♡ おちんちん、失礼しますねえ……♡

ほうら……♡

私のおっぱい……♡

JKなのに、こんなに大きく……♡

ーカップまで育ったおっぱいでえ、おちんちん、

ぱっふん……♡ からのお……♡

ずりずりパイズリ……♡

おちんちん、おっぱいでよしよし……♡」

メ「あたしも行くよ♡

おっぱいから飛び出たちんちん……♡

お口でぱっくん……♡

んうあ……♡

っはあ……♡ んもう、おつきすぎ……♡

口ん中、いっぱいいっぱいだもんなあ……♡

んふふ……♡」

め「気持ちいいですか、お兄さん♡

メシアに先っぽ、にゆるにゆるしゃぶってもらいながら、

パイズリぎゅっぎゅう……♡

ーカップのむっちりおっぱいで、乳圧強くかけて、

おちんちん、甘あく押し潰し……♡

お兄さんの立派なおちんちんでも、

ほとんど隠れちゃうようなデカ乳が、

おちんちんをむぎゅむぎゅぎゅっぎゅ♡

ずりずりむにむに……♡

上下に……♡ 左右にたぶたぶ♡

おちんちんの形に合わせて変形していくおっぱい……♡

見ているだけでもエロくて興奮しちゃうのに、

おちんちんで感触まで、味わわされて……♡

キンタマぱんっぱんに膨らんで、

精液昇って来ちゃいますよねえ……♡」

×「っふう……♡

えっちなーカップJKの、むぎゅむぎゅパイズリ……♡

ドスケベ乳肉でちんちん包まれて、

カウパーだらっただらだよぉ……♡

あたしのお口、我慢汁でいっぱい……♡

スケベ汁こんなの飲まされたら……♡

どんどんえっちな気分になっちゃうじゃん……♡」

め「んっう……♡

おちんちんびくびく、さっきより強く……♡

また興奮高まって……♡

精液ホントに昇って来ちゃいましたか？

なら、このままどっぴゅんしちゃいましょうか♡

私のおっぱいに包まれたまま……♡

メシアのお口に……♡

……え？」

メ「っはぁ……っ。

あ、あたしにもパイズリしてほしい？

いやいや、無理だってっ。

あたし、ギリBカップって感じなのに……。

ちんちん包むのとか、できないから……。」

め「おっぱい押し付けられるだけでもいいんですか？

それなら……できるよね、メシア？」

メ「できるだろうけど……。

気持ちよくなっても、文句言わないでよ？

こうやって……ちんちん、ぎゅっって？

これでいいの？ んう、ふう、はぁ……。」♡

め「ふふ……♡ 気持ちよさそうですね、お兄さん♡

なら、私もおちんちん……♡

いただきますね♡ んうぁ……。」♡

メ「おっぱい、押し付けて……。」♡

ずりずり、ずりずり……♡

これ、ちんちんでおっぱい、揉まれてるみたい……♡

むにゅん、むにゅんって……♡

いっぱい押し付けられて……♡

んうあ……っ♡

んっ、ふう、はあ……♡

それに、乳首、こすれて……♡

こっちまで、ぞくぞく……♡

気持ちよくなっちゃう……♡ はああ……♡」

め「んっあ……♡

カウパーの量、すごいです……♡

メシアのおっぱいで興奮して、こんなに……？

キンタマの中身も、かなり濃くなってそうですね……♡

射精が楽しみです♡ ふふ……♡」

メ「もう出ちやいそうなんですしょ……？

なら、いつでも出していいよ……♡

めいにたっぷり飲ませてあげてもいいし……♡

あたしのおっぱいなんかでよければ、

ぶっかけちゃってもいいよ……♡

好きなところでちんちん、射精して……♡

キンタマの中でどろっどろに固まった、

熱々ちんちんミルク……♡

びゅーびゅーいっぱい、出していいよ……♡

んっ、ふう、はぁ、っはっぁああ……♡」

め「んう……♡

最後は同時に……？

ふふ、わかりました♡

なら、私もおっぱい、むにゅんって、押し付けて……♡」

メ「うぐ……っ♡

めいのおっぱい、でっか……♡

これ、ほとんどめいのおっぱいで埋まってんじゃん……♡

でも、フェラは負けないよ……♡」

め「ダブルJKパイズリフェラで……♡

おちんちんフィニッシュ……♡」

メ「ちんちんいっぱい射精して、

たっぷりどっぴゅん、しちゃってね……♡」

め「出してください……♡ イッてください……♡

おちんちんどうぞ♡ どっぴゅんどうぞお……♡」

メ「イッて♡ 出してっ♡ ちんちんぴゅっぴゅ♡

キンタマザーメン、びゅるるるう……♡」

め「出して、出して、出して、出してえ……♡」

メ「イケ♡ イケ♡ イケイケ♡ イッケえ……♡」

め「んうあ……♡ んううあっ、ぷううああ……っ♡」

メ「んっい……っ♡ んっへあっ♡ ううああ……っ♡」

め「はっ、ふっ、はっあ……♡

熱々の精液……♡ こんなにいっぱい……♡」

メ「出し過ぎでしょ、お兄さん……♡

ちんちん、元気すぎ……♡

はあ、ふう、はあ、はあ……♡」

め「んうう……♡ この精液の匂い……♡

くっさいお汁の匂い……♡

おまんこ、熱く……♡

あ……♡ お兄さん……♡

やっあ……♡

んっうう……っ♡

こ、この体勢って……♡」

×「お兄さん……♡ それ、寝バックってやつ……？」

そんなカッコで、ちんちん、ずぶうって……♡」

め「んっう……♡ 濡れ濡れおまんこ、おちんちんが……♡

待って、お兄さん……♡

精液の匂いで、おまんこ、発情中なんです……♡

今おちんちん、ずぶってされたら、私……♡

うっあっあああ……っ♡

おちんちん、にゅっぷう……♡

びしょ濡れおまんこ、おちんちん、入ってえ……♡

あああああ……っ♡

いあ、ん、んっっ、んあ、んあう……♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

ううあっあああ……っ♡

×「お兄さん……♡

ちんちんずぼずぼ叩きつけ、かっ♡

さっきまで、あんなにおっぱい、甘えてたのに……♡

別人みたいな腰振りピストン……♡

そんなかっ♡

おまんこいっぱい、濡れてきちゃうじゃん……♡

はあ……♡ 好き、好き♡ お兄さん……♡

め「っああっ、あっああっ♡

奥まで一気にっ♡ 深いところ♡

届くう……♡ っあああ……っ♡

うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……♡

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ

♡

寝バックおちんちんっ、これっ、いいです……っ♡

お兄さんのおちんちんっ♡ 一番奥う……♡

どっちゅんどっちゅんっ♡

深いところっ♡ 長く届いてえ……♡

ううっあああ……っ♡

気持ちいい♡ 気持ちいい♡

寝バック交尾♡ 気持ちいい♡

っうっああ……っ♡
「♡」

メ「パイズリ射精でいっぱいザーメンぶちまけたのに……♡

さっき以上にガッチガチのオスちんちん……♡

大人のおちんちんで、重たいピストン……♡

めいのお尻にばっちゅんばっちゅん叩きつけ……♡

JKおまんこ支配するような、ずぼずぼラブハメレイプ……♡

すごすぎい……♡

はー……♡ はー……♡ はあああ……♡
「♡」

め「あっ、あつい、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

っおお……っ♡

おちんちん、奥う……♡

子宮にぶっちゅり、突き刺さって……♡

これっ、出すっ♡ 出すつもり……っ♡

お兄さんっ♡ 奥にっ♡

おちんちん射精……っ♡ っあああ……っ♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡

はっああ……っ♡

パイズリでいっぱい気持ちよくしてくれたお礼に……っ？

は、はい……っ♡ はいっ、はいっ♡

ありがとうございます……っ♡

精液プレゼントうれしいです……っ♡

たくさんください……♡

いっぱい出してください……♡

おちんちんびゅっびゅうっ♡

おちんちんどびゅどびゅう……♡

っああああ……っ♡「♡」

×「うん♡ 出して、お兄さん♡」

JKおまんこ種付け中出し♡

お射精びゅっびゅ♡ ちんちんどっぴゅん♡

熱々ほかほかキンタマミルク♡

めいの中に、いっぱい出して♡

ねばねばどろどろ真っ白なお汁♡

びゅくびゅくいっぱい出して、出して、出してえ……♡」

め「んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

イック♡ イック♡

イクイク♡ んいっぐっ♡

イックっ♡ イックううう……っ♡

んううあっ♡ はっあああっ♡

んううああっ♡ ううあああ……っ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ ああああっ♡

んううあっああっあああ……っ♡

イグイグイグイグううう……っ♡

お兄、さあん……っ♡ はっああああ……っ♡」

め「んうあっあっああっ♡

んううううっ♡ くうううううっ♡

うっ、ふっ、ふんっぐっ♡ うううう……っ♡

射精い……♡ どびゅどびゅ……♡

熱いのいっぱい、出てる♡ 出てるう……♡

お兄さん、すごい、です……♡

さっき出してもらった以上に多いの……っ♡

濃いのが、子宮う……♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふううう……っ♡

くっううん……っ♡

はっ、ふっ、はっ、っああ……♡

ふっ、ふっ、ふうう……♡「♡」

×「お兄さん……♡

早く、あたしも……♡

あたしのおまんこも、ちんちん、いっぱい……♡

んうあっ♡

あ……っ♡ あたしも寝バック……♡

大人ちんちん、重たいの、いっぱい子宮に……♡

んっい……っ！？

お、お兄さん……っ！？

そこ……っ♡ そっちは、おまんこじゃなくて……っ♡

っおお……っ♡

お尻いい……っ♡ んううううう……っ♡

っおああああ……っ♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひぁ♡

っああ、んあう、んっく、くぁ……っ♡

お尻にっ♡ ぱんぱんっ♡

どちゅどちゅっ♡ ちんちん……っ♡

うううあああ……っ♡」

め「あは……♡ お兄さん……♡

メシアのおまんこじゃなくて、

お尻に入れちゃったんですか……♡

JKアナルに、大人のぶっといおちんちん♡

じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ……♡

メシアのお尻の感触はどうですか？

柔らかくKケツ穴の、ハメ具合……♡

お兄さんのおちんちんに、合ってますか……♡

メシアもとっても喜んでるみたいですから……♡

いっぱいお尻、突いてあげてくださいね♡

ふふふ……♡」

メ「お尻♡ 喜んでなんて♡

んっいいいいん♡

はあっ、んんあ、つくあ……♡

んうっああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……♡

っああああ……♡

お兄さんの♡ おっきいちんちん♡

お尻の中♡ いっぱいに……♡

ひい、あはあ、ううあっ……♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

っおお……♡

これ♡ すん♡ やば♡

お尻熱いのっ♡ 熱くてっ♡ 溶けちゃうっ♡

気持ちいいっ♡ 気持ちいいけどっ♡

お尻っ♡ お尻なんてっ♡

あっ、あっ、あっ、あっあああ……♡」

め「メシアのハメ穴、完全攻略ですね……♡

お口も、おまんこも、アナルも……♡

お兄さんのおちんちん、メシアの身体の中、

ぜーんぶコンプリートしちゃいました……♡

すごいです♡ これでもう、メシアは完璧に、

お兄さんのもの……♡

自由におちんちんハメハメできる♡

便利なJKハメ穴です♡

お兄さんのおちんちん、二度と忘れられなくなって……♡

一生お兄さんとセックスし続けたいって、

思うようになりますよ……♡

メシアの望み……♡ しっかり叶えてあげてくださいね……♡

んふふ……♡」

メ」んっうううう……っ♡

おっき♡ お兄さんっ♡ ちんちんっ♡

お尻の中♡ 膨らんでえ……♡

うおおおおあ……っ♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、うつふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ふっ、ぐっ、ふんっぐっ♡ んっいいい……♡

あっ♡ あっ♡ ダメッ♡ お尻っ♡

変になってるっ♡ お尻熱いっ♡

おかしっ♡ お尻っ♡ アナルっ♡

おかしいのっ♡ これっ、こっれっ♡

イクんだっ♡ イッちゃうっ♡

お兄さんのちんちんずぼずぼでっ♡

お尻イッちゃうっ♡ イッちゃうっ♡

ううううう……っ♡

寝バックアナルえっちでっ♡ 重たいちんちんピストンでっ♡

お尻イグっ♡ アナルイグっ♡

尻穴イッグ♡ イグイグイッグうう……♡

ううあああああ……っ♡」

め「ふふ……♡ お尻アクメ、しちやいそうですって……♡

なら、お兄さんも……♡

はい♡ おちんちんお射精してください……♡

メシアのお尻に熱いのいっぱい……♡

どくどくどっぴゅん♡ アナル中出し……♡

ドスケベ△尻穴に、種付け射精……♡

おまんこだけじゃなく、お尻の穴まで、

お兄さんの真っ白ザーメンで汚してあげてください……♡

どうぞ、出して……♡

出してください……♡ おちんちんどうぞ♡

おちんちんぴゅっぴゅ♡ おちんちんびゅるるう……♡

どうぞ、どうぞ、どうぞお……♡」

メ「ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

イグイグイグイグっ♡

お尻イグお尻イグお尻イグお尻イグお尻イグううう……っ♡

うううあっあああ……っ♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡ お尻っ♡

アナルっ♡ ケツハメ交尾っ♡

ちんちんでイグ♡ お尻イグっ♡

気持ちいいの来ちゃうっ♡

ダメになるっ♡ お尻っ♡ おかしくなるうっ♡

イグイグイグ♡ イグ♡ いっきゅうう……っ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ ううおああ……っ♡

んっいいいい……っ♡」

メ「ううあっああっああああ……っ♡

びゅっぐうっ♡ びゅっぐうっ♡

ちんちん、出てるうう……っ♡

射精っ♡ お尻……♡ お尻にいっぱいっ♡

熱々ザー汁、中出しされて……っ♡

ほっ♡ ほっ♡ ふうううっ♡ くうっふうっふうっ……っ♡

お尻い……♡ 気持ちいい……♡

お尻っ、すごいっ♡ アナルえっち……っ♡

これえ……♡ 好きになっちゃう、よお……♡

はっあ、はっあ、はっあ、っあああ……♡

んっうううう……っ♡

ふっ、ふっ、ふっ、くっふう……♡「♡」

め「ふふふ……♡

おちんちん、お疲れさまでした……♡

おっぱいに、お口に、おまんこに、お尻に……♡

今日はめいっぱい、楽しんでくれましたね……♡「♡」

×「好き放題されちゃったけど……♡

楽しかったよ……♡

またしようね……♡ お兄さん……♡

んふふふふ……♡「♡」

● 第8章

め「……なんてこと、昨日したばかりなのに……♡

昨日の今日で、もうこんな……♡

おちんちん、大きくするなんて……♡」

マ「マジで？」

お兄さんさぁ……♡ あたし抜きで、

二人とそんなことするなんて、ひどいんじゃない？

やっぱ新しく手に入ったおもちゃの方が、

いっぱい遊びたいってこと？」

め「あは♡ 私たち、お兄さんのおもちゃなんですか？

まあ、実際に、おもちゃみたいに、

あちこち好き放題、されちゃってますけど……♡」

マ「めいとメシアの二人が、

お兄さんにハマっちゃうのはわかってたけど……♡

お兄さんの性欲の方がヤバいっていうのは、

想定代だったなあ……♡

浮気なんて言うつもりはないけどさ……♡

もう少し、節度を持ってもらわないと……♡

あたしの分、なくなっちゃうじゃん♡

だからあ……♡

今日はお兄さんのこと……♡

わからせちゃおっかな……♡

んっう……♡

っはあ……♡

昨日と逆に……♡ 女の子の方から乳首、舐められて……♡

おチンポ気持ちよくなっちゃえ……♡

め「ふふふ、いいですね……♡

昨日のお返し……♡

私もいっぱいしてあげちゃいますね……♡

っはあ……♡

どうですか、お兄さん♡

ۛ
 ۛ
 ۛ
 ...
 ۛ
 └─

「んっ♡」

おチンポびくんって、反応した♡

乳首感じるんだあ♡

あは、知らなかったなあ♡

「ここ、あんまりしてあげたことなかったし♡」

め「なら、今日でたくさん開発しちゃいましょうか♡

私たちのおまんこ、ハメ穴にしてくれたみたい……♡

お兄さんの乳首……♡

触られただけでおちんちん熱くなっちゃうような、

「敏感乳首にしてあげちゃいます……♡」

♡♡♡♡♡ ♡♡♡♡♡ ♡♡♡♡♡ ♡♡♡♡♡ ♡♡♡♡♡

乳首舐められながら手コキ♡

どうだどうだ♡」

め「気持ちいいですかあ……♡」

昨日もたっぷり出したはずなのに、

もうガッチガチに勃起しちゃってる、

優秀おちんちん……♡

乳首で感じてくれてますかぁ……♡」

マ「んふふ♡ 我慢汁出てきたぞぉ♡

このまま続けたらイッちゃいそう……♡

乳首ねっとり舐められて、しゃぶられて……♡

情けなくオスイキしちゃうんだぁ……♡」

め「いいですよぉ、お兄さん♡

乳首でイッてください……♡

乳首でおちんちん、びゅっびゅっびゅうって♡

たっぷりお漏らししてくださいねえ♡」

マ「ほらイケ♡ イケイケ♡

出しちゃえよぉ♡ そらそらそらぁ♡」

め「おちんちんぴゅっぴゅ、してくださいあい♡

どくどくびゅうびゅう、お射精どうぞぉ……♡」

マ「んうぁ……っ♡

あはっ、出た出た♡

乳首いじめられて、おチンポイッたぁ♡

やゝい、お兄さんの負け♡」

め「ふふふ……っ♡

そんなによかったんですか、乳首……♡

いいこと知っちゃいました……♡

それなら、これからはお兄さんと会う度に、

乳首いじめてあげちゃったりとかーんぁっ!?

あっ、やっ、お兄さん……っ♡

んっう……♡

壁に、押し付け……っ♡ 痛い、です……っ♡

ひゃぁっ!?

おちんちん、熱……っ♡

お尻に当たって……っ♡

あっ、待って……っ♡ ごめんなさい……♡

私、ちょっと、いじわるなこと、言い過ぎて……っ♡

ん……っ♡

っああああ……っ♡

おまんこ、後ろから……っ♡

立ったまま、おちんちん……っ。

ずっぷりい……っ♡

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

はっああっああん……っ♡」

マ「うわ……♡ お兄さん、怒っちゃった？

乳首弱いの見つかっちゃって、

ムキになっちゃってんだ♡

恥ずかしいもんねえ♡

乳首よわわで、あっという間におチンポ、

イカされたなんてさあ……♡

だからって、めいのこと、

立ちバックでレイプしちゃうとか……♡

大人げないねえ……♡

んふふ……♡」

め「あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

んっううう……っ♡

マリアちゃん、ダメ……♡

そんなにつ、お兄さんのことっ、

煽らないで……っ♡

んっいいい……っ♡

おちんちん、どんどん大きくなる……っ♡

イライラおちんちんでっ♡ おまんこっ♡

いっぱいえぐられてえ……♡

んううああっ、はっあああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んっく、くう……♡」

マ「ダメじゃん、お兄さん……♡

いくらイライラしたからって、

それをめいにぶつけるなんて……♡

ひどい大人だぁ……♡

おチンポどちゅどちゅいっぱい突いて、

「おまんこでストレス解消しちゃおうって……♡

ろくな大人じゃないよねえ、絶対……♡

ほら♡ ほら♡ そんなんでいいの？

その程度のピストンでえ、

イライラムラムラチンポ、治まるのかなぁ？

んふふ……♡」

め「んんんう……♡ んっああああ♡ んっううう♡

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

うううううう……っ♡

やめてって、言ってるのに……っ♡

待って、ください、お兄さん……♡

謝ります、から……っ♡

お兄さんのこと、馬鹿にしたこと、

謝りますからあ……っ♡

んうううっ、ああああ……っ♡

こ、これ以上、おまんこされたら……っ♡

うっ、あああっ、んいっ、はっああ……っ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやんっ♡

だめっ♡ だめっ♡

おまんこっ♡ 熱いっ♡

お兄さんのっ♡ 怒りっ♡

伝わってえ……♡

あっ、うっ、あっ、あっあああ……♡

んっい……っ!?

はあ、はあ……っ!？」

め「お、お兄さん……?」

おちんちん、抜けて……。

許してくれたんですか……?」

はあ、はあ……。

んっうっ!?

おちんちん、そっちは……っ!?

んっぁ……っ♡

おっお……っ♡

お尻につ、入ってえ……っ♡

んううぁぁぁ……っ♡

んいっひい……っ♡
「♡」

マ「うっわぁ……♡

おまんこじゃあイライラ治まらないからって、

「ㇿアナル、レイプしちゃうんだ……♡

もうだめだ……♡

この大人、最低すぎるう……♡

「ㇿのかわいいお尻、がっしり掴んで、

ぱんぱんぱんぱん、全力ケツ穴ほじり……♡

めいのお尻、絶対壊れちゃう……♡

おチンポ大好きなドスケベアナルになっちゃうねえ……♡

かわいそう……♡
「♡」

め「んうあ、んっ、ん、んう、んっ……♡

ゃん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡

っああああ……っ♡

お兄さん……っ♡ んっいいいい……っ♡

んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

ん、あん、はあ、ああん、うん♡

お尻っ♡ お尻っ♡

すごいっ♡ 気持ちいい……っ♡

んっ、はっ、あっあああ……っ♡

アナルセックス……っ♡

これで私もっ♡ ハメ穴っ♡ コンプリートお……っ♡

お兄さんに全部の穴っ♡ 使ってもらえて……っ♡

うれしいです……っ♡

んううああああ……っ♡

あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、あん、うん、うつぶ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

はっああああ……♡

はいっ、はいっ♡ いいです、よ……っ♡

お尻にザーメン、中出し、してください……っ♡

昨日のメシアみたいに……♡

お尻の中まで真っ白につ、ザー汁まみれにしてください……っ♡「♡」

マ「あはっ♡ イッちゃうんだ♡

イライラチンポ、ㄣアナルに中出しキメて、

ストレス解消させちゃうんだ♡

いいよ、出しちゃえ♡

最低チンポ、ケツ穴射精……♡

キンタマの苛立ち、ㄣふわとろケツマンコで癒してもらって、

すっきりしちゃえ……っ♡

出せ♡ 出せ♡ イケイケ、イッケえ……♡

チンポイケ、チンポイケ、チンポイケ、チンポイケえ……♡」

め「イッグ♡ イッグ♡ アナルイグっ♡ アナルイグ♡

お尻イギますっ♡

お兄さんのぶっといおちんちんでっ♡

お尻ほじられてっ♡ ケツ穴アクメしますうっ♡

ううああああ……っ♡

イグイグイグイグっ♡ んいっぐっ♡

くうううううう……っ♡

うっあっ♡ つあああっ♡

あっ、あっ、あっ、あっああああ……っ♡
「♡」

め「んううっおお……っ♡

ううああっああああ……っ♡

っあああっ、っあああっ♡ んっひっ♡

んうううあああ……っ♡

お尻っ♡ イッでっ♡ お尻いっ♡ 射精いい……っ♡

あっ、うっ、あっ、はっああああ……っ♡

どくどく、ぶっびゅううう……っ♡

いっぱい、出てるう……っ♡

あっ、あっ、うっ、はっああ……っ♡

ふっう、ふっう、ふううっ、くっううう……っ♡

んっくうう……♡ つはあ、っふう、はあ……♡
「♡」

マ」どうだったあ？

めいのお尻♡ JKアナルでおチンポごしごし、
最高だったでしょ？

ん？ あは♡ なぁに、その顔♡

もしかしてえ……♡ やんっ♡

んっう……♡

やっぱり……♡ 今度はあたしも、

レイプしちゃうんだ……っ♡

んっう……♡ チンポ、熱……っ♡

はっああああ……っ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああんっ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ♡

んううああああ……っ♡」

め「ふう、ふう、ふう……♡

私のお尻にたっぷり出してくれたのに……♡

そのままマリアちゃんまで、

犯しちゃうなんて……♡

さすが、お兄さんですね……♡

ええ、どうぞ……♡

お兄さんのイライラ煽って、私をたくさん、

レイプさせようとしたマリアちゃんなんか……♡

大人おちんちんでたっぷり、

お仕置きしてやってください……♡

私も耳舐めで、おちんちんサポート、しますから……♡」

マ「んっうっうっうん……♡

ちょっと、めい……♡

そこはあたしみたいに、お兄さんのこと、

バカにする流れじゃ……♡

うっうっああ……♡ おチンポぶっとお……♡

これ♡♡ 興奮してるとかじゃなくて……♡

お兄さんのおチンポ……♡

成長、してない……♡？

二人だけでしてる時……♡

こんなにおっきくなったことっ♡

ない、でしょ……っ♡ ううああ……っ♡

んいいい……っ♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡

はっ、はあっ、んっあっ、はあああ……っ♡

はっああああ……っ♡」

め「そうなんですか？ ふふ……っ♡

なら、チャンスですよ……っ♡

マリアちゃんも知らない、お兄さんの、

大きくてかっこいいおちんちんで……っ♡

マリアちゃんのこと、わからせちゃいましょう……っ♡

がんばってください、お兄さん……っ♡

マリアちゃんのこと、たくさん犯して……っ♡

イライラムラムラ治まらないおちんちん、

スツキリさせちゃいましょうね……っ♡」

マ「んっうっうっうっう……っ♡

ううあっ、お兄さんっ♡ あっくっ♡

うっああああ……っ♡

おチンポ♡ ヤバイ……っ♡

これ、本気で怒ってない……？

冗談だって……っ♡ プレイみたいなもんだって、

わかってる、でしょお……っ♡

うっっああああ……っ♡

なのにつ♡ こんなっ♡ 全力チンポでっ♡

奥っ、ずんずんっ♡

うっっ♡ おおっ、んうおっ♡

くっううう……っ♡

はっ、あっ、うっくうっ♡ うっおお……♡

んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ♡

んっいい……っ！？

はっ、はっ、はっあ……♡「♡」

マ「あ、れ……？

おチンポ抜いたのって……。

これ、まさか……♡

んっい……っ♡

やっぱり、あたしも、お尻……っ♡

っおお……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

あっく、んううう……っ♡

んっひいっ、はああ……っ♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

お尻い……っ♡ あっっいい……っ♡「♡」

め「ふふ……♡

お兄さん、すっかりJKアナル、

ハマっちゃったみたいですな……♡

これでメシアと私と、マリアちゃん……♡

三人分のメスアナル、犯しちゃってます……♡

どうですか、お兄さん……♡

お尻、気持ちいいですか？ ふふふ……♡「♡」

マ「っはあっ、っはああ……っ♡

あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

んっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

んっううう……♡

アナル、セックスう……♡

今までしたこと、なかったのに……っ♡

こんなっ、ところで……っ♡

っああああ……っ♡

気持ちいい……っ♡ 本気の大人チンポでっ♡

ケツ穴ぐぶぐぶっ♡ すっごっ♡ いいい……っ♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ、ふうっ、っはあっ♡

ああああ……っ♡ んっくうあ♡ んっいい……♡

っああああ……っ♡ だめだめっ♡

だっめっ♡ おまんこもヤバかったのにっ♡

連続ケツ穴交尾もされたら……♡

イッグ……♡ こんなオイチャウ……っ♡

強制アクメっ♡ 来ちゃうっ♡

来ちゃうううう……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……っ♡

んうあああっ、ああああっ、あっ、うああっ♡

ううっあっあああ……っ♡」

め」どうぞ、お兄さん……♡

出してください……♡

おちんちんザーメン、びゆるびゆるどっぴゅう……♡

JKアナルにいっぱい中出し……♡

お尻の中まで、お腹の奥まで、精液どっぴゅう……♡

どろどろに汚して、身体の外も、中も、全部……♡

お兄さんがマーキングしてください……♡

はい……♡ はい……♡

どうぞ、どうぞ♡ ケツ穴中出しどうぞお……♡

いっぱいイッてくださいあい……♡」

マ」ああっ、んうあああ……っ♡ はっ、はあっ♡

ふうううっ、んうあああ……っ♡

はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ♡

あああっ、ああああっ、っんんっ♡

っおおお……っ♡

イグイグイグイグっ♡ 射精来るっ♡

ケツ穴種付けっ♡

本気チンポっ♡ アナル中出し来ちゃうっ……♡

っああっあああ……♡

イッグ♡ イッグ♡ イグイグイグうっ♡

はっああああ……っ♡

イッグうううう……っ♡」

マ「んうああっああああ……っ♡

ううああっ、はっああっあああ……っ♡

うううう……♡ お尻っ♡

熱いっ♡ どぶどぶっ♡ 種付けえ……♡

これが、アナル中出しセックス……♡

うううう……♡ あっはあ……♡

すっごい、気持ちいい……♡

はあ、はあ、はああ……♡」

め「ふふふ……♡♡♡

お疲れさまです、お兄さん……♡♡♡

ダブルJKのお尻、一気に犯して……♡♡♡

大変だったでしょう？ ふふふ……♡♡♡

っあんっ♡ あはあ……♡♡♡

おっぱいちゅうちゅうって……♡♡ うん……♡♡♡

ふふふ……♡♡ いいんですよ……♡♡♡

怒ったふりだなんて、

初めからわかってましたから……♡♡♡

レイプごっこ、楽しかったですよ……♡♡♡

マ」でも、半分ぐらいは本気だったでしょ……♡♡♡

必死にあたしのお尻、犯しちゃってさ……♡♡♡

っあん……♡♡ もう……♡♡♡

ごめんって言いながら、おっぱい吸うって……♡♡♡

謝る気、あるんだか、ないんだか……♡♡♡

め「いいんですよ♡♡♡

許してあげますから……♡♡♡

ほら、仲直りの印に、ちゅー……♡♡♡

涎たっぷり絡ませた、べろちゅー……♡

しましうね……♡

っはぁ……♡ ほら……♡

私の涎、ごっくんって……♡

はい……♡ ありがとうございます♡「♡

マ「あたしのも飲んでよ♡

そしたらこっちも、許してあげるから♡

んうぁ……♡

ふう……♡ はぁい……♡

甘ぁい涎、ごっくん……♡

おいしい？ ふふ……♡「

め「またおちんちん、イライラしたら……♡

いつでも全力でぶつけてきてくれて、

いいですからね……♡「

マ「でも、お尻でするんなら先に、一言言ってからにしてよね♡

びっくりしちゃうからさ……♡

ふふふふふ……♡「

● 第9章

メ「はっあ……♡」

マ「んうあ……♡」

メ「お兄さん……♡」

今日もいっぱい、えっちしようね……♡

あたし、お兄さんとしたくって、

この間からずっと……♡

待ちきれなかったんだから……♡」

マ「おーおー……♡」

メシアもすっかりメロメロだねえ♡

昨日のめいもそうだったけど……♡

我ながら、二人に悪いことしちゃったかなあ♡

JKなのに、大人おチンポの快感、

覚えさせちゃってさあ……♡」

メ「ホントだよ……♡

マリアのおかげで私……♡

学校でも、一人でいる時も、ずっと……♡

お兄さんのことばかり考えちゃってさ……♡

おまんこうずうず、止まんないだもん……♡」

マ「あは♡ あったなあ、あたしも♡ そういう時……♡

大丈夫♡ もう何回か、セックスすると……♡

そういう段階も超えて、逆に落ち着いてくるからさ♡

ま、その時にはお兄さんとのセックスが、

当たり前になっちゃうってことなんだけど……♡

特別感がなくなって……♡

お兄さんと会って、えっちするのが、

日常になっちゃうんだよねえ……♡

ヤバイよねえ、絶対……♡

ふふふ……♡」

メ「ヤバくてもいい……♡

おかしくってもいいから……♡

お兄さん……♡

ちんちんちょうだい……♡

えっちしょ♡ セックスしょ♡

いっぱいばこばこ、ちんちん、ハメハメしてえ……♡」

マ「おねだり止まんないねえ……♡

じゃ、そろそろおチンポ、ハメてあげちゃう？

おチンポの準備もいい具合みたいだし……♡

あとであたしもよろしくね♡

んふふ……♡」

メ「ん……♡ お兄さん……♡

うん♡ 来て……♡

ちんちん、ずぶんって……♡

大人ちんちん、奥まで入れて……♡

ほら、おまんこ、とろっとろなの……♡

もう待ちきれなくて……♡

奥から愛液、とろとろ溢れてえ……♡

はぁ、はぁ、はぁぁ……♡

んっう……♡ お兄さん……♡

んううぁぁぁ……っ♡

ううっ、くううん……♡

奥までっ、ずっぷう……♡

ちんちん、全部う……♡

はっ、ふっ、はっ、はっぁ……♡

ぁぁぁ……♡ お兄さん、重い……♡

これ、前もしてくれた……♡

うん……♡ 種付けプレス……♡

子宮にいっぱい、ちんちん、どちゅどちゅうってえ……♡

っぁぁっ、っんっ、んんっぁっんんいっ♡

いっっ、いっぁぁっ、ぁっ、っんん……♡

はっぁぁぁぁ……♡

ぁぁっ、気持ちいいっ♡

ちんちんっ♡ どちゅどちゅっ♡

最高、だよお……っ♡

んっううううっああっ、っああ♡

ああっ、っんんっ、んんっ♡

んううあああ……♡」

マ「うっわあ……♡

お兄さん、メシアの狭あいおまんこに、

そんな本気おチンポ、覚えさせたんだ……♡

そりゃあメロメロになるわけだあ♡

お兄さんのおチンポ、ただでさえたくましくって、

かっこいいのに……♡

種付けプレスで子宮ばこばこ……♡

ハマらないわけないってえ……♡

鬼畜だなあ……♡ んふふ……♡

まあ、メシア、かわいいもんねえ……♡

オスだったらこのかわいいJK、

本気で堕としたくなるよねえ……♡

なら、手伝ってあげる……♡

もっとメシアがおまんこ喜ぶようにい………♡

乳首くりくりいじくってえ………♡

チンポおっきくなるようにさあ………♡

ほらほらほらあ………♡」

メ」あっ、あああっ、あああっんんっああっ♡

あんっ、あっ、あっんんっ、っいいっ♡

んうううあああ………♡

ちんちんっ、すっごいっ♡

熱いっ♡ 熱いっ♡ 奥までっ♡

ばちゅばちゅ………っ♡

っいいっ、いいいあああ………っ♡

んっ、んんっうううっ、うああっ、あああああんっ、んっ♡

ふっといのっ♡ 深いところお………っ♡

子宮、入り口っ♡ ずっちゅん♡ ずっちゅん………♡

くうっううう………♡

ううああああ………っ♡

入り口っ♡ 開いちゃうっ♡

お兄さんの精子っ♡ 中でっ♡

受け止めようって……っ♡

おまんこっ、お口あぐんって……♡

ちんちんっ♡ 全部っ♡

食べようとしてえ……♡

あっ、あっ、っあああっ、んっ、ああああんっ♡

んっあああっんっ、んいいっ、いいいいいい……っ♡

んっううん……♡」

マ「乳首くりくり♡ くりくりかりり♡

これされると、お兄さん弱いんだもんねえ♡

ちゃあんと覚えたからさ♡

いっぱい気持ちよくしてあげるよ♡

こうすれば、おチンポもっと勃起してえ……♡

キンタマたっぷりザーメン溜まってさあ……♡

種付け精子、いっぱいいっぱい……♡

中出しするの、もっと気持ちよくなれるんだもんねえ……♡

ほうら、ほうら♡ こりこりかりかり……♡

さらにい……♡ んうああ……♡

っはぁ……♡ こうして舐めてあげれば、

もっと気持ちよくなっちゃうんだよねえ♡

んふふ……♡」

メ「んっいいいい……っ♡

ちんちんっ、強っ♡ 激しっ♡ ピストン、重いい……っ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ っあああ……っ♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡

うんっ♡ うんっ♡

出したいんでしょ……っ♡

子宮に中出し……っ♡ ザーメンびゅうびゅう……♡

いいよ、もちろん……♡

あたしも欲しいのっ♡ かっこいいちんちんピストンでっ♡

お口あぐんってしちゃってる子宮にい……♡

ザーメンたっぷり、注いでいいからぁ……♡

だからっ♡ 出してっ♡ いっぱい出してっ♡

どくどくびゅうびゅうっ♡

種付けしてえ……♡

ちようだいっ♡ ちようだいっ♡

精液っ、くださあい……♡」

マ「出しちゃうの？ 種付けしちゃうの？

ザーメンびゅっぶん♡

メシアの小さいお腹に、たっぷりザー汁♡

びゅっびゅっびゅっびゅう……♡

お兄さんのあつつあつの濃厚ザーメン♡

子宮たっぷり注いじやったら……♡

お腹ぽっこり膨らんで、種付け済みの、

丸わかりになっちゃうねえ……♡

見たいよねえ……♡

お腹にたっぷり精液注がれて、

お腹ふくらんじやってるメシアのこと……♡

それなら出しちゃえ♡ 濃いの出せ♡

出せ出せ♡ イケイケ……っ♡

乳首たっぷり舐められて、濃いのいっぱい……♡

熱々孕ませミルク……♡

びゅーびゅー出しちゃえ……♡」

メ「いいっあっ、んんんうっ、うっああっ♡

ああああっ、ああんっ、んんっ♡

イック♡ イック♡ んいっくうっ♡

はっああああ……♡

お兄さんっ♡ んいっくっ♡

イック♡ イクイクっ♡ んうううう……っ♡

はっ、あっ、んうああっ♡ んううああああ……っ♡

んうううう……っ♡

んうううっ♡ ふんううううう……っ♡

精子っ♡ 来てる……っ♡

奥っ♡ ぶちゅうってっ♡

先っぽ沈んで……っ♡ うっ、あっ、うううう……っ♡

精液どくどく……♡ ぶびゅびゅうう……っ♡

はっ、はっ、はっ、はああああ……♡

んうっあ……♡

ふっう、ふっう、ふっうう、んっうう………♡」

マ「いやあ、出したねえ、お兄さん………♡

メシアのおまんこから、すんごい濃厚なの、

こぼれてきてる………♡

溢れザーメンエロすぎるよねえ………♡

じゃ、お兄さん………♡

今出したのと同じぐらい濃い精液………♡

あたしのおまんこにも、注いでよね………♡

あんっ♡

あはっ♡ やる気満々だね♡

なら、あたしも………♡ ほら………っ♡

お兄さんの身体、ぎゅっつてさ………♡

だいしゅきホールドで抱きしめてあげるから………♡

らぶらぶえっち、しちやおっか………♡

んっう………♡

っああっあああ………っ♡

おチンポ、おつき………っ♡

やっぱこれ………♡ 前より絶対、強くなってる………♡

勃起力、持続力……♡

鍛えられて……っ♡

んんんああんっ、あああっんいいいいいいっ♡

っああっ、んんっ、っううっ、うあっ、ああ……っ♡

はっああああ……♡

いつもと同じえっちのなずなのに……っ♡

感じ方、全然、違うう……っ♡

んっいいい……♡」

メ「ふう、ふう、ふう……♡

お兄さん……♡

はぁ……♡ ちんちんもっど、

気持ちよくなりたいんだよね……♡

マリアのおまんこにゆぷにゆぷして、

精液どっぴゅん出したいんだよね……♡

いいよ♡ あたしも、お兄さんにたくさん、

気持ちよくなって欲しいからぁ……♡」

マ「んっ、んっあぁっ、あぁっ、っんっ、っあぁっ♡

あんんいっいっ、っあぁあぁあっんっ♡

んっうっ、くっうっう……♡

チンポ、ふっか……♡

これっ、ホント、ヤバい……っ♡

おチンポでっ、子宮……♡

女の子の一番弱いところ……っ♡

ずんずん、どちゅどちゅ……っ♡

容赦なくえぐってくるんだもん……♡

こんなのっ、メシアじゃなくなっ……♡

あ、あたしだっ……♡ こんなセックス……♡

今までされたことないから……♡

好きになっ……♡

こんな濃厚交尾……♡

本気子作りセックス……♡

好きになっ……♡ ううぁぁ……♡

んっうっ、うぁぁっ、あっ、あっん……♡

んあっ、っんっ、んあっ、っんっ、んいっいっいっいっ♡

もうとっくに、大好きなのに……っ♡

大好き、重なっちゃう……っ♡

うううん……♡」

メ「ふー……♡ ふー……♡

お兄さん……♡ お兄さん……♡

好き♡ 好き♡ 大好き♡

大好きだからもっと、気持ちよくなって……♡

いっぱいしてあげるから……♡

何でもしてあげるからあ……♡

もっとちんちん大きくして……♡

キンタマぱんぱんに膨らませて……♡

熱い精液何度でも、びゅびゅびゅうって出してえ……♡

好き、好き、大好きだよ、お兄さん……♡」

マ「うううあっあああ……っ♡

メシアに好きって言われて、興奮してんの……っ♡

ひどいなあ……♡

あたしだって、お兄さんのこと……♡

大好きなのにい……っ♡

っあっ、ああああ……っ♡

うあっ、あんっ、ああああっんっ♡

はっあああ……♡

ほら、ほら♡ もっと力一杯、ぎゅっぎゅっぎゅうってえ……♡

こんなに力強く抱きしめて、やってんだからさあ……♡

んっううん……♡

メシアじゃなくて、あたしのおまんこで……♡

あたしとのらぶらぶえっちで、おチンポ……っ♡

気持ちよくなってよねえ……♡

んっううん……♡

ああっ、あんっ、っいいいい……っ♡

うああああっ、んんんっあっ、ああっんっ♡

はっあああ……♡

もう、出ちやいそうなんでしょ……っ♡

わかるって……♡

あたし、お兄さんとはもう、長いんだからさ……♡

おチンポの感じで、わかるから……♡

遠慮しないで、中出し、してえ……っ♡」

メ「出しちゃうの……?」

ちんちんぴゅっぴゅしちゃうの?

うん♡ うん♡ イクんだね♡

いいよ、イッて……♡

精液出して♡ どくどくびゅうびゅう……♡

いっぱい射精……♡

マリアの中に、熱いの出してえ……♡

子宮たっぷり中出し射精……♡

ちんちん満足するまで、どくどくどっぴゅん……♡

満足するまでたっくさん……♡

キンタマ空っぽになるまでいっぱいあい……♡

射精してえ……♡ いっぱい出してえ……♡

出して、出して、イッて、イッてえ……っ♡」

マ「んんああんんっ、いいいいいいっ、いいいいっああああ……っ♡

んうあっ、ああああっ、んうううあっ♡

ああっ、はっあああ……っ♡

んっううう……っ♡ イック……♡

あたしも、イクっ♡ お兄さんのおチンポっ♡

奥っ♡ ぐりぐりって……♡

子宮屈服させられるっ♡ 大人の本気交尾でっ♡

おまんこイック……っ♡

んうううっ、あっあああ……♡

んうあっ♡ イック♡ んっくっ♡

んっううう……♡

あんっ、んっ、あんっ、あんっ、んっ、ああんっ♡

あんっ、ああんっ、あんっ、あんっ♡

イクイク、イック♡ んいっくっ♡

んっううう……♡

あっ、うっ、あっ、あっ、あっ、はっあああ……♡」

マ「んううあっああああ……っ♡

んううあっ♡ んうううん……♡

ザーメン、出て……♡ んっうあ……っ♡

お腹にいっぱい♡ びゅーびゅー♡

熱いの……っ♡ ううあああ……♡

んっい……♡ 待って、お兄さん……♡

出しながら、おチンポ、ぐりいって……♡

奥、押し込もうとして……♡

うっ、くっ、そんなことされたらっ♡

はっああ……♡ 子宮、ホントに……♡

おチンポ、屈服しちゃう……♡

おチンポとキスしてないと……♡

満足できないおまんこにされちゃう、から……♡

うううう……♡

ふっ、ふっ、はっ、はっあああ……♡

んっううん……♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ……♡

はー……♡ はー……♡ んっはあ、はあ……♡

×「お兄さん……♡

っはあ……♡

ほら……♡ お疲れさまのキス……♡

してあげる……♡

ちんちん、元気になるように……♡

涎いっぱい、飲んでいいからあ……♡

はあ、はあ、はあ……♡」

マ「ふふ……♡ 昨日もいっぱいごっくんしたもんねえ……♡

またいっぱい飲んで……♡

おチンポもキンタマも、元気いっぱいにしちやおうねえ……♡

ふう、はあ……♡

ほうら、お口にとろとろのつば、溜め込んでえ……♡

お口いっぱい、JKのよだれの味にしちゃってえ……♡

ほうら、ごっくん……♡

んふふふ……♡」

メ「ちんちん、元気になった？

また勃起できる？

それなら、もっかい……♡

もっかいしよ……♡

いいでしょ？ ね、お兄さん……♡

かっこいいちんちん、もっと、あたしのおまんこに……♡

いっぱいぶちこんで……♡」

マ「あたしもあたしも♡

何度でもえっちできるよう、

いっぱいキスも、乳首責めもしてあげるからさ♡

まだまだたくさん、ハメハメしようね♡」

メ「夜はまだまだ、長いもんね……♡

ふふふふふ……♡」

● 第10章

め「お兄さん♡

今日は少し、試してみたいことがあるんですが……♡

いいですか？

はい♡ せっかく二人きりってことなので……♡

いつもと違うようなこと、してみたいなって……♡

では、お兄さんは今から、学校の先生です♡

そして私は、先生が受け持つクラスの生徒……教え子ですね♡

だけど先生は、そんなかわいい教え子に発情する、悪い先生……♡

二人きりになった時に我慢できなくなって……♡

私に襲いかかるんです♡

どうですか？ 面白そうですね……♡

それに……」△に発情しちゃう、悪い大人って意味では……♡

お兄さんにぴったりでしょう？

あ……♡ んっ、くううん……♡

お兄さ……いえ、先生……♡

やめてください……♡

私、あなたのことなんか……♡

や……♡ なんで、おちんちんなんて……♡

いやぁ……♡ やめて、ください……♡

いや♡ やぁ……♡

おちんちん、舐めろだなんて……♡

そんなの無理です♡ やめてください……♡

うあっ、んうううっ、っぁぁ……♡

っはぁ……♡

おちんちん無理矢理……♡

突っ込まれてえ……♡

いやぁ……♡

おちんちん、いやです……♡

やめてください、先生……♡

っはぁ、っはぁ、んうん、はぁ……っ♡

ふううつ、くうう……♡

はっぁぁ……♡

はっ、ふっ、はっぁぁ……♡

ず、ずっと……♡ 私を、狙ってたっていうんですか……♡

ずっと私に、こうやって……っ♡

性欲、ぶつけて……♡

おちんちんで、何か、してやりたいって……♡

ひどいです、先生……♡

んうつ♡

っはぁ……♡

私、先生のこと、尊敬してたのに……♡

教師として、先生みたいな人……♡

好きだったのに……♡

っはぁ……♡

違います……♡ 男としてじゃなくて……♡

立派な教師だって……♡

先生みたいな教師に……♡

私もなりたいて、ずっと……♡

思ってたのに……♡

喉の奥まで、おちんちん……♡

太いの、入ってきてえ……♡

ぷっは……っ♡

はっ、はっ、はっああ……♡

え……？ も、もう出ちゃう、って……♡

い、いや……♡

だめです……っ♡ 射精なんて、しないで……♡

私の口に、精液出すなんて……っ♡

絶対ダメですう……っ♡

っは♡ っはあ♡ はっああ……♡

おちんちんダメ♡ おちんちんダメえ……♡

んうっ、ふううう……♡

んうんっ♡ んっふっ♡ くうううっ♡

んっうううううう……っ♡

んっ、ふっ、ふううう、くっふうう……♡

んべ♡ ぐぐぐぐぐ♡ ぐぐぐぐぐ♡ ぐぐぐぐぐ……♡

んう、ごきゅ♡ごきゅ、ごっきゅん……♡

はっ、はっ、はっ、はっああ……♡

ううう、っああ……♡

先生の、精液……♡ 無理矢理、飲まされて……♡

はっ、はっ、はっ、はっあ……♡

んうあ……♡ 先生……♡

まだ、何か……っ♡ やあ……♡

んっうん……♡

も、もしかして……♡ せ、セックス……っ♡

おちんちん、私の中に……♡

入れるつもりじゃ……♡

だめです、そんなこと……♡

先生と教師で、セックスなんて……♡

いや♡ いや♡ やめてくださいっ♡

おちんちんレイプなんてえ……♡

だめ、だめえ……♡

おちんちん、近付けないで……♡

ああ、っああ、んうう……♡

んっあ……♡

っああっああ……っ♡

んうああ……っ♡ あっ、んううあっ♡

っはあああ……っ♡

はっあ、はっあ、ふううあっ、んっうう……♡

せん、せ……♡

いや、いやあ……♡

先生のおちんちん……♡ な、中にい……♡

っああっあああ……っ♡

あんっ、あんっ、んっ、あんっ、あんっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、ああんっ、んっ、ああんっ♡

んっあああ……っ♡

あっ、んっ、先生っ♡ うううん……♡

ぱんぱんぱんぱんっ♡

おちんちんっ、ピストン……♡

やめてください……っ♡ ダメです……っ♡

セックスっ♡ だめっ、だめえ……♡

あんっ、んっ、あああ……っ♡

ああんっ、あああんっ、あんっ、ああんっ、あつくう……っ♡
か、感じてなんてえ……♡

おちんちん、喜んでなんて、ないです……♡

おちんちん、無理矢理入れられて……っ♡

喜ぶなんてえ……♡

んううううん……っ♡

奥っ、まで……♡ おちんちん……っ♡

うううう……♡ 深い、ところまで……♡

お、お兄さん、これ……♡

子宮、本気で……♡

んっ、あんっ、ああああんっ、あああんっ♡

ああんっ、ああああんっ、あんっ♡

あんっ、ああんっ、うあんっ、ああんっ、うんっ、んっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、あうんっ、あんっ、んっ♡

っああああ……っ♡ 奥っ♡ おまんこっ♡

奥っ♡ 全部っ♡ ううああ……っ♡

ばちゅばちゅばちゅばちゅっ♡

奥にたくさんっ♡ おちんちんっ♡

突き刺さってえ……♡

おに……せ、先生い……♡

ダメです♡ そんな♡ 子宮まで♡

ぶっちゅうってえ……♡

種付けピストン♡ そんなっ、激しく♡

んうあっ、はっあああ……♡

うあんっ、あんっ、うんっ、あんっ、んっ、うあんっ、ああんっ♡

あんっ、あああうあんっ、ああうああんっ♡

はっ、んっ、はっ、んっあああ……♡

んうあっ♡

っへああ……♡

き、キスなんてえ……♡

だめ、です……♡

キス、だめ、だめ、だめえ……♡

子宮、トントンされながら、べろちゅー……♡

演技……♡ できなくなっちゃいます……♡

うううん……♡

うああんっ、ああうあんっ、ああんっ、ううん……♡

ああんっ、んっ、うあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

っああああ……っ♡

イック♡ イックっ♡ おまんこっ、イッグ……♡

先生のっ♡ 本気のおちんちんっ♡

子宮レイプでっ♡ おまんこイッちやいます……っ♡

んううあっ、っあああ……♡

だっめ♡ だっめ♡ 先生っ♡ ううああ……っ♡

おまんこイックっ♡ おまんこイックっ♡

だ、出されちゃう……っ♡

中に精液、いっぱい来ちゃうう……っ♡

先生のっ♡ 精液っ♡

赤ちゃんの素っ♡ どくどくっ♡ 中出しっ♡

っあああ……♡ だめだめだめだめえ……♡

ううううあああ……っ♡

イクイクっ♡ イックっ♡ んうんあっ♡

はっあああ……♡

うっ、あっ、あっ、んううあっ♡

んいいいい……♡

うんっ、くうううう……♡

あっ、あっ、あっ、あっああ……♡

あああっ♡ イック♡ イック♡

おまんこっ、イッてっ♡ んっううああ……っ♡

出て、ますう……♡ 種付け、射精い……♡

先生のっ♡ 熱いの……っ♡

奥に出されて、孕まされちゃいそう、ですう……っ♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ……♡

はあ、はあ、はあ、んうんあ……♡

っふうう……♡ ふっう、ふっう、ふうう、はっああ……♡

先生……♡ ひどい、です……♡

私のおまんこ、こんなに……♡

ふう、ふう、ふうう……♡

んっう……っ!？ やっあ、お兄さ……っ♡

んっううん……っ!？

この形……っ♡ ね、寝バックで……♡

また、入れられる……っ♡

寝バックレイプで、おちんちん……♡

ああっああああ……っ♡

おちんちん……♡ 深い、ですう……っ♡

くううううあああ……っ♡

一番奥まで……っ♡

今、どっぶり、種付け……っ♡

されちゃったところに……っ♡

おちんちん……っ♡

ううあああ……っ♡

んっ、うああんっ、ああうんっ、ああんっ、あうう……っ♡

ああああうんっ、あんっ、あんっ、うんっ、うんっ♡

んっ、ああんっ、うんっ、あうんっ、んっ、あんっ♡

んっ、うんっ、んっ、っくう……っ♡

んっいいいいん……♡

せんせっ♡ 奥っ♡ 奥にいっぱい♡

おちんちんがっ♡ はっああああ……♡

どっちゅんどっちゅんっ♡

深い♡ おちんちん♡

子宮ぶっちゅりっ♡ 当たっちゃってえ……♡

んっ、ああうあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

ああんっ、うあんっ、ああうああうあ……っ♡

待ってっ♡ くださいっ♡

それっ♡ すごいですっ♡

子宮っ♡ 先生のっ♡ 精子っ♡

熱々ザーメンっ♡ 注がれたところっ♡

ずとっ♡ 揺らされてえ……っ♡

んっううう……っ♡

敏感子宮ほじほじされるのっ♡ だめっ♡ ですう……っ♡

んううあああ……っ♡

んんんあ……っ♡ はっああん……っ♡

あんっ♡ んっあんっ♡ んううっあああ……っ♡ うっ♡ くっ♡

ふうああっ♡ んっひいいいん……っ♡

んううああっあああっああ……っ♡

んううあああああ……っ♡

先生のっ♡ おっきいおちんちん……っ♡

教え子レイプするっ♡ 悪いおちんちんっ♡

おちんちんで私っ♡ 気持ちよくっ♡

されちゃってえ……っ♡　っああああ……っ♡

んうああっ♡　うっあっああ♡　んううああっ♡

んっひい♡　ふううううう♡　くうあっ♡　くううう……っ♡

先生っ♡　先生っ♡　だっめっ♡　だめええ…♡

ううああああ……っ♡

イック♡　イックっ♡　またっ♡

おまんこイッちやいますっ♡

先生のっ♡　おちんちんでっ♡

悪いおちんちんでおまんこレイプう……♡

深いところまで全部っ♡　掻き回されて……っ♡

おちんちんっ♡　イッちやいます……っ♡

んううあああ……っ♡

んいいいい……っ♡　んっひいっ♡

うあああ……っ♡　んっいああっ♡　あっああっ、うううう……っ♡

イック♡　イック♡　イクイクっ♡　んううあああ……♡

だっめ♡　だっめえっ♡

んううああっ♡　はっあああ……♡

イグイグイグイグっ♡　大きいの来るっ♡

深イキ来ちゃうっ♡ ううああ……っ♡

うあっ♡ んうあっ♡

くうううあっ♡ はあああ……っ♡

イッグ♡ イッグ♡ イッグ♡

イッグううああああ……っ♡

せんせえええ……っ♡

っああっ♡ んううああっ♡ 精液っ♡

いっばいい……っ♡

どくどく、びゅっぐう……っ♡

いっばい、出てる……♡ 出ちゃってます……っ♡

うっ、あっ、んううあっ、んっうう……っ♡

はっ♡ はっ♡ はっ、はっああ……♡

妊娠、しちゃう……♡

先生の、赤ちゃん……♡

こんなに濃いのに、出されたらあ……♡

はあ、はあ、はあ、はあ……♡

んうあ……♡

っふう、っふう、っふう、っふう……っ♡

はあ、ふう、はあ……♡

ふふ……♡

お兄さん……♡

はあ……♡ んうん、はあ……♡

ありがとうございます、お兄さん……♡

どうでしたか……♡

教師と教え子プレイ……♡

思いつきでやってみたんですが……♡

新鮮な気持ちでセックス、できーえ？

そ、そうでもなかった？

いつもとあんまり変わらなかった、ですか？

そ、それは、その……ご、ごめんなさい……。

私は結構、楽しかったんですけど……。

確かに、その……あんまり、演技っぽいこと……。

できてなかったような気がしますし……。

ごめんなさい、お兄さーあ……♡

っはあ……♡ ふふふ……♡

そうですね……♡

こういうプレイ……♡

これから何度も繰り返して……♡

上手くなっていきばいいんですよ♡

はい♡ なら、またしましょうね♡

次の設定……♡ 考えておきますから♡

またよろしく願いしますね♡

先生♡ ふふふふ……♡「♡」

● 第11章

マ「や、お兄さん♡

今日はあたしと二人きりだってさぁ♡

めいもメシアも用事があるんだって♡

会えなくてさびしいって言ってたよ♡

いやいや、ホント……♡

かなり久しぶりだよねえ、二人きりになれるのってさ♡

お兄さん、あの二人と出会ってから、ずいぶんとまあ、

楽しそうにえっちしまくってたもんねえ♡

最初に手え出したあたしのこと……♡

忘れちゃってんじゃあないかってぐらい……♡

ん？ そんなことない？

ホントかなあ……♡

なら、証拠見せて欲しいね……♡

お兄さんがまだ、あたしのこと……♡

きちんと愛してくれてるって証拠……♡

その身体で、きっちりとき……♡

あ……っ!?

んうあっ♡ あは……っ♡

それですが、バックでハメるって……?

まあいいよ……♡ やってみせてよ……♡

期待してるからさ……っ♡

んっう……♡

おチンポ、おつき……♡ つはあ、っふう……♡

前も、言ったけど……♡

お兄さんのおチンポ、最近になって、鍛えられてるから……♡

この大きさ……♡ まだ、慣れてなくて……♡

んううあああ……っ♡

はっああ、くううう……っ♡

おチンポ、深いところ……っ♡ 入ってく、るう……っ♡

はっあああ……っ♡

んううううう……っ♡

ういひいひい……っ♡ いっ♡ んっい……♡

はっあああ……っ♡ うっくうああっ♡ はっあああ……♡

んっ、あっ、くうううっ、ううああ……っ♡

おチンポっ♡ おっきっ♡

ぶっといの奥までえっ♡ ううあっ♡

んうあああ……っ♡

んうういひいっ♡ んひいんっ♡ はっああ……♡

ううううああっ♡ ううううああ……っ♡

ふっ、ふっ、ふうううっ♡ くうう……っ♡

あは……っ♡

こんだけ強いピストン出来るから……っ♡

あたしのこと、愛してるだなんて……♡

言うつもり……♡

そんなじゃあないでしょ……っ♡

だって、こんなの……♡

あたしのおまんこに飽きちゃってても……♡

キンタマザーメンこき出して、

スッキリするための、性処理セックスだとしても……♡

このぐらいのこと、できるでしょ……♡

んううああ……♡

だからまだ♡ 認めない♡

こんなおチンポじゃあ♡ まだ♡

全然っ、足りないからあ……♡

んううあ♡ くうっ♡

んううああ♡ あっあああ……♡

んっいい♡ うっくう♡ んううああ……♡

んううあっああ♡ んいっあ♡ あああ……♡

んっうっ、ふうう……♡

はっ、ふっ、ふっ、んっううああ……♡

はあ、はあ、はあ……♡

んっう……♡

あは、何……？

キス……？ ま、いいけどお……♡

んうううあ♡ うっくううあ♡ はっああん……♡

あっああんっ♡ ううあああっ♡ ふんいいいい……♡

はっあああ……♡

これで、キスしてるからオッケーって……っ♡

そんなんじゃないでしょ……っ♡

まだまだ全然……っ♡

おまんこ、物足りないから……♡

もっと愛情いっぱい込めたおチンポじゃないと……っ♡

許さない、からあ……っ♡

んっいいっ♡ いいっ♡ んっひいっ♡ はっあああ……♡

んううあああ……っ♡ うっああっ♡ ふううっ♡

んっうう……っ!?

はあ、っはあ……♡

なんで、おチンポ、抜いて……♡

んう……っ!?

お尻、熱……っ♡

っあああっあああ……っ♡

んうううっううう……っ♡ うっあああっ♡ んっひい♡

ああっあああ……♡ ああっあああっ♡ んうあああ……♡

ううううう……っ♡

お尻っ♡ ずぼずぼお……っ♡

んうあああ……っ♡

んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ♡

うん、あん、あんっ、あ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

んっひいいい……っ♡

お兄さんっ♡ んうあ……っ♡

この間っ♡ お尻でヤッてから……っ♡

アナルセックス、ハマっちゃってるでしょ……っ♡

またっ、こんな……っ♡

「アナル、ずぼずぼどちゅどちゅうってえ……♡

するなんてえ……っ♡

んっいいいい……っ♡

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

んっ♡ んっ♡ んっううう……♡

はっあああああ……っ♡

うううっ、ああっ♡ イック♡ イック……♡

お尻っ♡ いっぱいっ♡

こすられて……っ♡ うううう……っ♡

お尻イグ……♡ お尻でイッちゃう……っ♡

お兄さんの、おっきいのっ♡

お尻の中でっ、暴れ回ってえ……っ♡

ううっああ……っ♡

で、る……？ お兄さんも……っ♡

うううう……っ♡

イグイグイグっ♡ んいっくっ♡

イグっ♡ はっああっ、んううう……♡

いいよ、出して……っ♡

お尻の中に、熱いのたくさん……っ♡

どびゅどびゅびゅうびゅう……♡

精液たくさん……♡ 熱いの、出してえ……♡

んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

イック♡ イック♡ イックうっ♡

うううううああ……っ♡

イッグうううう……っ♡

んいいいいっ、んっううう……っ♡

ああっ♡ うっああっ♡ 精液、お尻い……♡

とぶとぶ、どろどろ……っ♡

はあ、はあ……♡ ああ……♡

精液、あったかい……♡ はあ、はあ、はあ……♡

んっううあ……♡ はあ、はあ……♡

お兄さん……♡ おチンポ、すっ……♡

あは……♡

変な煽り方しちゃってごめんね……♡

なんか最近、構ってくれない気がしてさ……♡

……え……？

んっう……♡

お兄さん……♡ や……っ♡

んっいいいい……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや♡

はっあああ……♡

お兄さんっ、待って……っ♡

連続えっちっ♡ だっめ……♡ っあああ……♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

これっ♡ ちよっとっ、気持ちよすぎ……っ♡

うううあ……♡

重い……っ♡ 種付けプレスで……っ♡

おチンポばちゅばちゅっ♡ 子宮っ♡

叩きつけられてえ……っ♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……♡

はっああああ……っ♡

っはっ、はっ、っあああ……♡

あっ、ああっ、あっ、はあっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふあっ♡

あっ、あっい、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

ふう、ふう、はあ……♡

わかったって……っ♡

わかってるってばあ……っ♡

お兄さんがあたしのこと、愛してないって……♡

飽きたなんて……♡ 嫌いになったなんて……♡

初めから、思っていないからあ……♡

んっううん……♡

ちょっといじわるしただけなんだから……っ♡

だからこんなっ♡

本気おチンポっ、待って……♡

うううううう……っ♡

好きになっちゃう……っ♡

お兄さんのこと、もっと好きになっちゃう……っ♡

最初っからっ、大好きなのにい……っ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡

はっああ……っ♡

お兄さん……♡ もっと、べろちゅー……♡

えっちなキス、もっとお……♡

うん♡ 涎、交換……♡

お口の中の味、いっしょにしちゃお……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡

んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

んっうううん……♡ はっあああ……♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

うううう……っ♡ イクっ♡ イックっ♡

お兄さんの愛情っ♡

たっぷり籠もったおチンポでまたっ♡

おまんこイク……♡ おまんこイック……♡

ううううん……っ♡

うんっ♡ 出してっ♡ 精子出してっ♡

おまんこの中っ♡ 熱いのたくさんっ♡

どびゅどびゅうってえ……♡

ザーメン出して……♡ キンタマの中っ♡

私の子宮にっ♡ 全部っ♡ 移すみたいにい……♡

溢れてもいいからっ、いっぱい、出してえ……♡

んっううっ♡ イグイグっ♡ イッグっ♡

んいっぐ♡ うううううっ……っ♡

っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

はあっ、んんあ、っくあ……っ♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡ お兄さんっ♡

お兄さ……っ♡ うっ♡ あっ♡ あっ、ううああ……っ♡

んいっぐっううう……っ♡

んっううううっ♡ はっああああ……っ♡

はっ、はっ、ふっ、はっああ……♡

ああ、熱い……♡ 射精、どくどく……♡

中にいっばい出してくれるの……♡

好き……♡ 大好き……♡

んう、ふう、はあ、はあ……♡

っふう、っふう、っふう……♡

んっはあ……♡ はあ、はあ……♡

ふふ……♡

ありがとう、お兄さん……♡

あたしのわがまま、付き合ってくれて……♡

もう大丈夫だから……♡

お兄さんのこと、大好きだから……♡

お兄さんに愛してもらってるの、充分、

わかったから……んっうっ!?

んっううああ……っ♡

うう、あ……っ♡ お兄、さん……っ♡

んうっああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……っ♡

ひい、あはあ、ううあっ……っ♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……っ♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

お兄さんっ、なんで……っ♡

もうっ、わかったってっ♡ 言ってるのに……っ♡

うううう……っ♡

まだ、足りない……?!

愛情伝わってない……?!

そんな、ことお……っ♡

んあ、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

そんなことっ、ないって……っ♡

わかったからっ♡ わかったからあっ♡

もうおまんこっ♡ 子宮っ♡

いっぱいだからあ……っ♡

はっあああ……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

うううん……っ♡

っあああ……♡ おチンポどちゅとちゅう……♡

さつきよりもっと深く……っ♡

一番奥っ♡ 奥っううう……♡

お兄さんっ♡ お兄さんっ♡

うっ、あっ、んっううう……♡

はっあああ……♡

でも、でもお……♡

おチンポ、好き……♡

いっぱいおまんこしてくれるの、好き……♡

おチンポっ♡ おチンポっ♡ ぱんぱんぱん……っ♡

はっあああ……っ♡

うんっ、大好きっ♡ 大好きっ♡

大好きだからあ……っ♡

ほら、ぎゅっって……っ♡

いっぱいぎゅっってしてあげるう……っ♡

今度はあたしの番……っ♡

あたしがお兄さんのこと、大好きって……っ♡

言ってあげる番、だからあ……っ♡

ぎゅっううう……っ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

んっううう……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 大好きっ♡

大好きいいいい……っ♡

うっ、あっ、んううあっ♡ はっあああ……っ♡

んうううあっ♡ イック♡

イック♡ イクイクっ♡

んうううあああ……っ♡

うんっ♡ イクっ♡ イクからっ♡

お兄さんもっ♡ イッて♡

いっぱい出して……っ♡

奥にたくさん、熱いの出して……っ♡

どくどくどびゅどびゅ、中出し、種付けえ……っ♡

いっぱい出して、ください……っ♡

中出し射精い……っ♡ お願いしますう……っ♡

んうあああ……っ♡

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……っ♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……っ♡

んうううあっ、あっああああ……っ♡

イック♡ イック♡ イクイクっ♡

んいっぐううう……っ♡

好きっ♡ 好きっ、大好きいっ♡

はっあああ……っ♡

うっ、あっ、はああっ、んうあああ……っ♡

イックううあっあああ……っ♡

んうううあっ♡ はっあっああ……っ♡

うううっ、んううあっ♡

ああ、中出し……っ♡ 射精い……っ♡

おチンポ、子宮、ぎゅーって……♡

今のあたしたちみたいに……♡

おチンポと子宮で抱き合いながら、びゅーびゅーってえ……♡

あはあ……♡ 種付け射精……♡

最高お……♡

はあ、はあ、はあ、っふう……♡

んうあ……♡

っふう、ふう……♡

んえ……？ あは……♡

お掃除して欲しいって？

もう……♡ 仕方ないなあ……♡

んうあ……♡

っはあ……♡

ふふ……♡

お掃除どころかあ……♡

んうあ……♡

っはあ……♡

残り汁全部……♡

キンタマの中に残っちゃってるのまで、全部……♡

啜り取っちゃうような、強烈バキューム……♡

してあげるよ……っ♡

っはぁぁぁ……っ♡

んっふう、んっふう……♡

っううん……っ♡

んっううんっ、っはぁ……♡

はぁ、はぁ、っふう……♡

あは……♡ ほら、ちよびっただけ精液、

残ってたぁ……♡

ちやぁんと最後まで出し切らないなんて、

身体に悪いよ？ んふふ……♡

はぁ、はぁ、っふう……♡

お兄さん……♡ だぁい好き……♡

やっぱ私……♡

お兄さんとするえっちが、一番好き♡

ありがとう、お兄さん……♡

ふふふふふ……♡「♡」

● 第12章

め「三人で集まるのも、なんだか久しぶりですね♡」

メ「最近是一人だけでとか、逆に一人だけ来られなかったりとか、そういう感じばっかだったもんね♡」

マ「ま、おかげでみんな、お兄さんといっぱい、

親交を深められたわけだし……♡

よかったんじゃない?」

め「親交を深めるというか……♡

お兄さんからもう、離れられなくなるぐらい……♡

身体に刻みつけられちゃったというか……♡」

メ「まあ、なんだっていいよ♡

あたしは早く、お兄さんとおうち……♡

したいだけだもん♡

んふふ……♡」

マ「あたしも♡ じゃ、早く始めよっか♡

いつだったかぶりのお……♡

」K4P えっち……♡ んふふ……♡」

め「来てください、お兄さん……♡

私のおまんこ……♡

ここに来た時からずっと、こんな状態だったんです……♡

濡れ濡れおまんこ……♡

おちんちん欲しがり、愛液だだ漏れ……♡

こうなるの、わかってたから……♡

下着も着けてこなかったんです……♡

だから、お願いします……♡

おちんちん、早く……♡ 入れてください……♡」

メ「ほらほら♡ 早く早く♡

後がつかえてるんだからさあ♡

一人一人のえっちは、手早くしないと……♡」

マ「でも、おチンポ満足できないような手抜きえっちはダメだよ♡

そんなの誰も幸せにならないもん♡

時間はあんまりかけないように……♡

でも、満足感が高めの、濃厚セックス……♡

出来るよね、お兄さんなら……♡」

め「お願いします、お兄さん……♡

おまんこいっぱい気持ちよく……♡

大人おちんちん交尾で、いっぱいイカせてください……♡

んっう……♡ お兄さん……っ♡

んううあああ……っ♡

んっ、はっ、はあっあああ……♡

熱くて、おっきいの……♡

私の大好きな、おちんちん……っ♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んっく、くう……♡

っあああん……っ♡

奥まで一気に……っ♡ おちんちん、深い……っ♡」

×「出た出た……♡ お兄さんの、子宮つつつきピストン♡

あたしも大好きな、強いちんちん叩きつけえ……♡

ああ、見てるだけであたしも興奮してきちゃう……♡

子宮うずうず、疼いてきちゃう……♡

はっあ、はっあ、はっああ……っ♡」

マ「ふふ、そうそう♡

お兄さんの得意技、ㄟ子宮いじめまくりの、

大人げない、大人交尾……♡

それやってれば、よわよわㄟまんこなんてすぐイッちやって、

満足感たあっぷりに、幸せいっぱいになっちゃうから……♡」

メ「でも、それじゃあお兄さんが今ひとつでしょ？

先にめいがイッちやったりしたら、よくないもん……♡

だから、お兄さんもたっぷり気持ちよくなれるように……♡」

マ「あたしらも、お兄さんの大好きな、

いやらしい耳舐めで……♡

おチンポ敏感、キンタマぞくぞく、

感じさせてあげるからねえ……♡」

め「んうううああ……♡

んんんう……♡ んっああああ♡ んっううう♡

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

んっううう……っ♡

おちんちんっ♡ おっきっ♡ 熱いのっ♡

子宮うう……♡

はっ、あっ♡ 何度も種付けしてもらってっ♡

お兄さんのおちんちんっ♡

大好きになっちゃった、」子宮……っ♡

いっぱい突いてもらってっ♡ 今日もっ♡

大喜びしてます……っ♡

んっいい……っ♡

はっ、んっ、はっあ、っああ……っ♡

っはあ、はあ……♡

ずんずん、ずんずんって、突かれる度になっ♡

んっいつ、はっあ……っ♡

甘イキっ♡ 繰り返してっ♡

あっ♡ うっ♡ あっ、んうああ……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやんっ♡

ううううっああ……♡」

メ「めい、完全にお兄さんのちんちんに、ハマっちゃってるね……♡

これもう、心も体も、お兄さんのもの……♡

お兄さんのお嫁さんになりたがってる……♡

ううん、もうなっちゃってるよね……♡

かわいいかわいい」奥さん、ゲットしちゃったねえ……♡

いちゃらぶ自由、えっちも自由……♡

いくらでも孕ませ放題の」新妻……♡

いっぱい愛してあげようねえ……♡」

マ「赤ちゃんは何人ぐらい作りたい？

二人？ 三人？

美人なめいとかっこいいお兄さんの赤ちゃんだからあ、

きつとすんごくかわいい子が産まれるよお……♡

だから、」孕ませて、赤ちゃん産ませたいんならあ……♡

もっといっぱいおチンポぶつけて……♡

孕ませザーメン、びゅぷつと吐き出しちゃえ……♡」

メ「めいのこと、今日でホントに孕ませちゃっていいよ……♡

今までの種付けごっこじゃなくて……♡

ガチの種付け孕ませ射精い……♡」

マ「赤ちゃん作ろ……♡

」本気で妊娠させちゃお……♡

中出し、種付け、妊娠セックスう……♡

子作りしちやおうねえ……♡」

め「んうあ、んっ、ん、んう、んっ……♡

ゃん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡

っあああ……♡

お兄さんっ♡ お兄さん……♡

孕ませて、ください……♡

赤ちゃんください……っ♡

種付けしてくださいあい……♡

私に、お兄さんの、子供お……♡

本当に、妊娠……っ♡

っおおお……っ♡

んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

ん、あん、はあ、ああん、うん♡

あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、あん、うん、うつぶ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

んううああっああああ……っ♡

奥っ♡ 奥っ♡ おちんちんっ♡ ああああ……っ♡

くっついてっ♡ 離れないっ♡

赤ちゃんのお部屋っ♡ おちんちんっ♡

吸い付いてっ♡ んううあああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、イック♡

イックっ♡ 大きいの来るっ♡

赤ちゃん孕ませおちんちんでっ♡

おまんこイックっ♡ おまんこイキますっ♡

お兄さんの赤ちゃん孕んでイキますっ♡

はっああああ……っ♡」

×「出せ♡ 出せ♡

妊娠させろ……♡

めいのこと孕ませろ……♡

めいのこと、ママにしろ……♡

パパになっちゃえ……♡」

マ「イケイケ♡ イケイケ♡

精液びゅっびゅ♡

ザーメンどっぴゅん……♡

赤ちゃん孕ませ射精……♡

どうぞお……♡」

め「ん、んあ、あん、ああ、あん、ああん♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……♡

んううあっあああああ……♡

イッグ♡ イッグ♡ お兄さん♡

っああああ……♡

イッグ♡ んいっぐ♡

イグイグ♡ んっううう……♡

あっ、はっ、あっ、はっああああ……♡

んっひいひいひいひい……♡

んっううう♡ くうっうううう……♡

ふっ、うっ♡ ふっくう♡

んううあっああ……♡

あっ、あっ、あっ、んううう……♡

っは……♡　っはぁ、はぁ……♡

ああ……♡　お腹、あったかい……♡

お兄さんの、精液……♡

赤ちゃんの素、注がれて……♡

いっぱい、いっぱい……♡

これだけたくさん、出してもらったら……♡

本当に……♡　はぁ、はぁ、はぁ……♡」

メ「やったねえ、お兄さん……♡

めいのこと、お嫁さんにできて……♡」

マ「じゃあ、次はメシアの番かな……♡

メシアもおチンポでイカせちゃってえ……♡

二人目のお嫁さん、作っちゃおっか……♡」

メ「んうぁ……っ♡

あは、お兄さん……♡」

め「ふふ……♡

メシアは身体が小さいから……♡

抱きしめ合って対面座位がお似合いですね……♡

そのまま小さい身体に大きいおちんちん、

突っ込んで……♡

孕ませ交尾、しちゃいましょうね……♡」

マ「おまんこぶっ壊すぐらい、がつつんがつつん突いてえ……♡

おチンポのこと以外考えられない、

かわいいドスケベお嫁さんにしちゃおうねえ……♡」

メ「あは……♡

あたし、壊されちゃうの……？

でも……♡ 大好きなお兄さんになら……♡

それでも……♡

んう……♡

あ……♡

っは……♡

はあ、んう、はあ……♡

キスしたまま、おチンポじゅっぷんって……♡

これ、気持ちよすぎて、幸せすぎて……♡

ホントに、壊れちゃいそ……♡

っああっあああ……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ♡

んいいい……っ♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡
はっ、はあっ、んっあっ、はあああ……っ♡
んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡
んうううあっああ……っ♡」

め「あは……♡

メシア、お兄さんのおちんちん入れてもらえて、
嬉しそうですよ……♡

おちんちんずぼずぼ、メシアの狭いおまんこ、
出し入れされる度に、他の男の人には聞かせられないような、
えっちな喘ぎ声、いっぱい出して……♡」

マ「お兄さんのぶっとくっておっきいおチンポ、

メシアの中、入りきらなくて……♡

それを無理矢理ピストンで、奥、ぶちこんでるから……♡

メシア、すごい苦しそう……♡

苦しくって……♡ うれしそう……♡」

め「どうぞ、お兄さん……♡

そのままもっといっぱい、メシアのこと……♡」

マ「感じさせまくって……♡

脳みその中まで全部……♡

お兄さん一色にしちやおうねえ……♡」

メ「っふう、ふう、っはぁ、はぁ……っ♡

あっ、んっぁ、んうぁぁ……っ♡ はぁぁ……っ♡

あっく、んううう……っ♡

ううぁっぁぁぁ……っ♡

お兄さんっ♡ ちんちん、深いぃ……っ♡

っぁぁぁ……っ♡

入んないっ♡ そんなところまでっ♡

ちんちんっ、入んないからぁ……っ♡

ぎゅって抱きしめられてっ♡ おぐっ♡

奥のっ♡ 入っちゃいけないところまでっ♡

ちんちん来るう……っ♡

ううぁっぁぁぁ……っ♡

んっひいっ、はぁぁ……っ♡

あっ、っはぁっ、んううぁっ、はぁぁ……っ♡

はっぁぁぁぁぁ……っ♡

でもっ、でもっ、あたしもっ、お兄さんのっ♡

お嫁さん……♡

なりたいから……っ♡　っあああ……っ♡

このぐらい……っ♡

全然、平気、だからぁ……っ♡

んっいいい……っ♡」

め「あは……♡

ほら、お兄さん……♡

メシアのかわいいお願い、聞きました……？

お嫁さん、なりたいんですって……♡

聞いてあげましょうよ♡

ね……♡」

マ「~~メ~~からのかわいいお嫁さんおねだりだよ……♡

こんなの叶えてあげるしかないでしょ♡

このぶっといおチンポで、おまんこイカせちゃってえ……♡

赤ちゃん孕ませちゃえば、それでいいんだから……♡」

め「メシアにも、お兄さんの赤ちゃん、孕ませて……♡

私といっしょに、同時にお嫁さんにしちゃってくださいね……♡」

マ「かわいい」
奥さん、二人も一気に出来ちゃうねえ……♡
幸せものだねえ、お兄さん……♡」

メ「っはあっ、っはああ……っ♡

あっ、あっ、んっあっ、はああ……っ♡

っあああ……っ♡

お兄さんっ♡ んうううっ♡

お嫁さんっ♡ してくれる……？

あたしのこと……♡ お嫁さん……っ♡

お兄さんの赤ちゃん、産んでいい……？

んっ、んっ、んっうん……っ♡

っああっあああ……っ♡

んううううっ♡ くうっううん……っ♡

うんっ♡ うんっ♡ ありがとっ♡

なるっ♡ 絶対なるっ♡

赤ちゃん産んでっ♡ お嫁さんっ♡

なるからああ……♡

だから赤ちゃんっ♡ 孕ませてっ♡

妊娠させてっ♡ お腹おっきくさせてえっ♡

はっぁあん……♡

お兄さんの赤ちゃんっ♡ 欲しいっ♡

欲しいのお……っ♡

んっいいいい……っ♡」

め「はいどうぞ♡ お兄さん♡

孕ませお射精♡ 種付け子作り♡

メシアの小さい身体に赤ちゃんの素、

植え付けてください……♡

かわいい赤ちゃん産ませましょうね♡

メシアのこと、ママにしちやいましょうね……♡」

マ「孕ませろ♡ 孕ませろ♡

連続種付け♡」同時に妊娠させちゃえ♡

いっしょに赤ちゃん産ませちゃって♡

一気に二人の子持ちのパパになっちゃえ♡

イケ♡ イケ♡ チンポイケ♡ チンポイケ♡」

め「お射精どうぞ♡ 種付けどうぞお……♡」

マ「出せ出せ出せ出せ……♡」

メ「んっ、あっ、あっ、あああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

うううあああ……っ♡

ちんちんっ、ぎゅうううう……っ♡

ちんちんっ、子宮っ♡ めり込んで……っ♡

力一杯抱きしめられて……っ♡

奥にちんちん突き刺さってえ……♡

っおお……っ♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ、ふうっ、っはあっ♡

ああああ……っ♡ んっくうあ♡ んっいい……♡

ううあっああああ……っ♡

イクイクイクっ♡

お兄さんの赤ちゃんっ♡ 孕ませられてっ♡

イッグ♡ イッグ♡ イグイグっ♡

んうっぐううう……っ♡

はっ、あっ、ううっ、あっ、んうああ……っ♡

ううううあっ♡ んううううう……っ♡

出てっ♡ 射精いい……っ♡

どくどく、びゅるるう………♡

中出し、熱いの………♡ 孕ませザーメン………♡

注がれて………♡ うっく、ううう………♡

はっ、ふっ、はっ、はあああ………♡

はー………♡ はー………♡ はあああ………♡

んっうう………♡

ふっ、ふっ、うっふう………♡」

マ「あは………♡

お兄さん、どんだけ奥に精子ぶちこんだの？

メシアのおまんこから精液、垂れてこないんだけど………♡

そんだけ奥に出しちゃったらさ………♡

そりゃあ妊娠しちゃうよねえ………♡

んふふ………♡」

め「じゃあ、最後はマリアちゃん………♡

だよね………♡

マリアちゃんはどうするの？

マリアちゃんも、お兄さんのお嫁さんに………♡」

マ「あは♡ 何言ってるの？

あたしはあ……♡

めいやメシアよりも、とっくの昔に……♡

お兄さんのお嫁さん、なっちゃってるからさ……♡

だから、今からするのは、夫婦の子作り交尾……♡

手つなぎ騎乗位でえ……♡

旦那様ザーメン、搾っちゃうからね……♡

んっう……♡

っはっあああ……♡

んっ、はっ、はっあああ……♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はあっ、んうあああ……っ♡

んうあああっ、あああっ、あっ、うああっ♡

んふふふふ……♡「

メ」「ふう、ふう……♡

なに、それ……♡

ずるいよ、マリア……♡」

め「でも、確かに……♡

マリアちゃんは前から、お兄さんと、

会ってたわけだもんね……♡

とっくにお兄さんのお嫁さんになっても、

おかしくないんだね……♡

メ「ふん……♡

でも、お嫁さんになったからには、

立場は対等なんだから……♡

ね、お兄さん……♡

同じお嫁さん△として……♡

おんなじように、愛してよね……♡

め「後からお嫁さんになったからって……♡

愛情は、マリアちゃんにだって、

負けませんからね……♡

マ「んっはあ……♡

お兄さんのおチンポ……っ♡

んうっ、くううん……っ♡

ダブルお嫁さん耳舐めで、喜んでるねえ……♡

んっ、あっ、はっああ……っ♡

他のお嫁さんにおチンポ、勃起させてもらって……♡

一番最初のお嫁さんのおまんこっ♡

ごりごりえぐっちゃうなんて……♡

ホント、幸せものなんだから……♡

んううん……♡

ああっ、んうあああ……っ♡ はっ、はあっ♡

ふううっ、んうあああ……っ♡

はっあああ……っ♡

ホント、最高だよね、お兄さんの人生……♡

お嫁さん」へ、三人に囲まれて……っ♡

遠慮なしの本気子作り……っ♡

できちゃうんだもんねえ……♡

んふふふふ……♡」

め「ふふ……♡ マリアちゃんのこと、

やっぱり孕ませるつもりなんですわね……♡

私たちと同じように……♡

子宮におちんちん、どっちゅん、突き刺して……♡

一番奥に、どくどくびゅーびゅー♡

種付けお射精……♡ 孕ませ種付けえ……♡」

メ「大人のかっこいいちんちん、奥にぶっちゅん♡

えぐるように押し付けて……♡

孕め♡ 孕め♡ オレの子供産めえ……♡ って……♡

ボテ腹」△作ろうとしてるんだ……♡

三人同時孕ませ子作り……♡

しちゃうんだねえ……♡」

め「かっこいいですよ、お兄さん……♡

赤ちゃんいっぱい、産んであげたくなっちゃいます……♡」

メ「マリアもきつと、そう思ってるよ……♡

お兄さんのことだあい好き……♡

赤ちゃん産ませて♡ って……♡

ふふふ……♡」

マ「んっうん……っ♡

あは♡ そうだよ……っ♡

メシアの言うとおり……♡

あたしもっ、お兄さんの赤ちゃん……っ♡

今はマジで、欲しくなってる……♡

お兄さんとずっと、遊んでたけど……♡

今は本気で……♡ お兄さんの赤ちゃん……♡

産んであげたい……♡

孕みたい……♡ 赤ちゃん、いっぱい……♡

孕ませて欲しい……♡

はあっ、はあっ、んっあ、ああ……♡

あああっ、ああああっ、っんんっ♡

んっううん……♡

ずっといっしょにp活してきた」を……♡

本気にさせちゃったお兄さん……♡

責任取って……♡

子作り、してよ……♡

うううあっあああ……♡

あはっ♡ 孕ませ突き上げっ♡

きったっ♡ んっいいい……♡「♡」

め「ああ……♡ 本気孕ませピストン……♡

これが始まったら……♡

もう、逃げられないんですね……♡

お兄さんに孕ませられるまで、

セックス終わらない……………♡

妊娠確定……………♡ 絶対孕む……………♡

お嫁さん孕ませるまで、ずっと、ずうっと……………♡

ばちゅばちゅばちゅばちゅ……………♡」

メ「ほら、孕んじゃう♡ 孕んじゃう♡

これで三人目……………♡

めいと、あたしと、マリア……………♡

三人の「全員孕ませちゃう……………♡

三人ともママにする準備、できちゃった……………♡」

め「どうぞ♡ どうぞ♡

孕ませてください……………♡

三人同時にママにして……………♡

みんなのパパになってください……………♡」

メ「みんなで仲良く、幸せになろうね……………♡

だから、ほうら……………♡

孕ませて……………♡ 孕ませてえ……………♡」

マ「っああっ、っんっ、んんっあっんんいっ♡

いっつ、いっつあぁっ、あっ、っんん…………♡

んっううううっあぁっ、っあっ♡

んっうううう…………っ♡

イック♡ イックっ♡

孕むっ♡ 妊娠種付けっ♡

うっくっ♡ はっあぁあ…………っ♡

お兄さんっ♡ 好きッ♡ 大好きっ♡

大好き大好きっ♡ んうううっ♡

はっあぁあ…………っ♡

赤ちゃんちようだいっ♡ お兄さんのっ♡

ザーメンっ♡ お腹っ 奥っ♡

んううお…………っ♡

子宮っ、刺さってえ…………っ♡

んっいいいっ♡ はっあぁあ…………っ♡

イグイグイグイグっ♡ んいっぐうっ♡

うううあっあぁあ…………っ♡

イッグううううう…………っ♡

うううあぁっ♡ んいいいっ♡

ふっ、ぐっ♡ うっくあっ♡

んうあっああああ……っ♡

はああああ……っ♡

うううあっ♡ んううう……っ♡

熱いっ♡ 精液……っ♡

赤ちゃんデキちゃう、孕ませ精液……♡

いっぱい注いでもらって……っ♡

嬉しい……♡ うれしいよ、お兄さん……♡

ありがとう……♡

ふふ、ふふふ……♡ はあ、はあ、はああ……っ♡「♡」

め「お兄さん……♡

ありがとうございます……♡「♡」

メ「私たち、お兄さんと出会えて、

本当に幸せ……♡

だからこれからもずっと……♡

あたしたちと、いっしょにいてね……♡「♡」

マ「お嫁さん、三人になっちゃったから、

これから大変になると思うけどさ……♡

まあ、大丈夫でしょ？

強くてカッコいい、大人のお兄さんならさ……♡

だから……♡」

め「いつまでも、私たちと……♡

楽しくp活続けましょうね……♡」

メ「いつまでも、あたしたちと……♡

楽しくp活続けようね……♡」

マ「いつまでも、あたしたちと……♡

楽しくp活続けちゃおうね……♡」

め「♡♡♡♡♡……♡」

メ「♡♡♡♡♡……♡」

マ「♡♡♡♡♡……♡」

● 第13章

マ「ほうら、お兄さん♡

よしよし、よしよし♡

大丈夫だからね♡

あたしらがついてるからね♡」

め「風邪を引いたって連絡が来た時は、

びっくりしましたよ……。

つい昨日まで、普通に過ごしてましたし……。」

メ「あたしたちのために、ちょっとがんばりすぎたんじゃない？

無理しちゃダメだよ、もう……。」

マ「ま、そういうわけで、看病はあたしらにお任せってことで♡

たくさん癒してあげるからね……♡」

め「はあい……♡ よしよし、よしよし……♡

大丈夫……♡

風邪なんて、すぐに吹き飛んじゃいますよ……♡」

メ「あたしたちがいっぱい、お兄さんのこと……♡

元気づけてあげるからね……♡

よしよし……♡」

マ「いっぱい元気出るように、ほうら……♡

おっぱいむにゅんって、押し付けながら、ぎゅーう……♡

優しく抱きしめてあげるからね……♡」

め「病気を治すには、元気いっぱいな身体が必要です……♡

お兄さんが元気を出す一番の方法といえば……♡

やっぱり、これ……♡」

メ「あたしらの、耳舐め……♡

でしょ？

いっぱいしてあげるから……♡

元気だそうねえ……♡」

マ「あたしはお顔でも舐めてあげようかな……♡

ホントはキスしたいんだけど……♡

さすがに風邪、移っちゃいそうだし……♡

んうぁ……♡」

め「今日までずっと、毎日のように、

私たちと遊んでくれて……♡

ありがとうございます……♡」

メ「いつも楽しかったよ……♡

お兄さんと会ったの、毎日、

楽しみだった……♡

もちろん、これからだって……♡」

マ「あたしだけじゃあなくて、

めいとメシアも加わって……♡

これからもっともっと楽しくなるからね……♡

早く風邪を治して、遊んじゃおうねえ……♡」

め「身体、あったかくなってきましたか？

ええ、その調子です♡

ぽかぽか身体、あっためて……♡

風邪に負けないようにしましょうね……♡」

メ「ぎゅっって密着してあげれば、

もっとぽかぽかするもんね……♡

ほうら、ぎゅっぎゅ、ぎゅっ……♡」

マ「ふふふ……♡

お兄さん、いいお顔……♡

幸せそうで、気持ちよさそう……♡」

め「なら、その幸せな気持ちのまま……♡

ぐっすり眠っちゃいましょうか……♡」

メ「三人に包まれて、あったかお肉布団で、

ぐーぐーしちゃお……♡

そうすれば、風邪なんてすぐ、治るからね……♡」

マ「ずっと撫で撫でしてあげる……♡

お兄さんのこと、いっぱい癒して……♡

いっしょ、いっしょ……♡

ほうら、目、閉じて……♡」

め「さあ、おやすみなさい、お兄さん♡

ぐっすり眠れるよう、私たちは、

ずっとここにいてあげますから……♡」

メ「おやすみ、お兄さん♡

元気になるの、待ってるから……♡

ゆっくり休んでね……♡」

マ「おやすみなさい、お兄さん……♡

今遊べない代わりに……♡

夢の中で、いっぱいあたしらと遊んでいいよ……♡

幸せな夢、いっぱい見てね……♡」

め「またいっしょに遊びましょうね、お兄さん……♡」

メ「またいっしょに遊ぼうね、お兄さん……♡」

マ「またいっしょに遊ぼう、お兄さん……♡」

● 第14章

◆ ①

め「私にオナニー、見せてやりたい……ですか？

と、唐突ですね、なんだか……。

でも、いいですよ♡ ふふ……♡

お兄さんが自分でおちんちんしこしこするところ、

私も見てみたいです……♡

それなら私は、お兄さんが気持ちよく、

おちんちんしこしこ出来るように……♡

ここで、ぎゅーって密着して……♡

おっぱいむにゅむにゅ押し付けて……♡

オナニーのオカズになってあげますね……♡

さあ、どうぞ♡

おちんちんしこしこ、初めてください……♡

ほうら、しこしこ、しこしこ……♡

ふふふ、おちんちんオナニー、お上手ですね……♡

いつもは私たちの相手をするから、

オナニーなんてほとんどしないはずなのに……♡

やっぱり男の人って、おちんちんに関しては、

何でもお上手なんですネ……♡

おちんちんしこしこかっこいいです……♡

根元から先っぽまで、いっぱいこすこす……♡

もっとたくさん気持ちよくなってくれていいですからね……♡

ほら、おっぱいむにゅむにゅ……♡

お兄さんの大好きな、えっちな柔らかなおっぱい……♡

むっちり乳肉押し付けてえ……♡

ふふ、おちんちんびくんって、喜んでますね♡

なら、揉んでもらってもいいんですよ……♡

おっぱい揉み揉みしながら、おちんちんしこしこ……♡

軽く揉むだけで、指が中に沈んじゃう、えっちなおっぱい……♡

触れば触るだけおちんちん元気になる、

いやらしいおっぱい……♡

お兄さんのために、ここまで大きくなった……♡

私のおっぱい……♡ たくさん揉み揉み、

してくださいあい……♡

っあん……♡ あん、あん……♡

おっぱい揉み揉みも、お上手で……♡ ん……♡

私まで気持ちよく、なっちゃいます……♡

んっ、はっ、はっあん……♡

お兄さん……♡ おっぱい、気持ちいいです……♡

んうん……♡

はぁ、はぁ、んっはぁ……♡

気持ちいいですか……♡

おっぱいもみもみ、おちんちんしこしこ……♡

感じちゃいますか……♡

キンタマ熱くなってるんですね……♡

精子いっぱい昇ってきて、

ザー汁どっぴゅん、たっぷりお漏らしできるように、

おちんちんガチガチになってるんですね……♡

いいですよ、それなら、ほら……♡

ここに、ザーメン……♡ 出してください……♡

はい……♡ 私のお顔に……♡ 私のお口に……♡

精液ぴゅっぴゅ、してください……♡

私のお顔、ザーメンティッシュ代わりに、

精液べっとり、汚してください……♡

私のお顔……♡ お口……♡

鼻の中まで、精液の匂い、取れなくなるぐらい……♡

どろっどろに汚してください……♡

はい、はい……♡ いいですよ……♡

お口あぐんってますから……♡

お顔、お口……それに、このおっぱいにも……♡

精液ぶっかけていいですからねえ……♡

はあい、お口、あ……♡

どうぞ、お兄さん……♡ 出してくださいあい……♡

出して♡ 出して♡ おちんちん出して……♡

どうぞ、どうぞ、どうぞお……♡

ザーメンぴゅっぴゅ……♡

んうああ……♡ んっ、あっ、へあああ……♡

っふう、ふう、はあ、はあ……♡

あはあ……♡

いっぱい出ましたね、お兄さん……♡

おちんちん汁、どばどばびゅうびゅう……♡

気持ちよかったですか？

ふふふ……♡

はい、私も……♡ 見ていてすごく、楽しかったです……♡

またいつでも、私のこと……♡

おちんちんザーメンで汚しちゃっていいですからね……♡

いつでもオカズになってあげますから……♡

また次も、よろしく願いますね……♡

ふふふふふ……♡」

メ「え？　なんて？

オナニーするから、見てくれ？

な、何言ってるの、お兄さん……。

いやまあ、別にいいけどさ……。

……オナニーか……。んふ♡　なんか楽しそうかも♡

ん♡　それじゃ、始めていいよ♡

でも、ただ見てるってだけでも暇そうだし……。♡

あたしはお兄さんのお耳でも……。♡

舐めてようかな……。♡

あたしの耳舐めに合わせて、

ちんちんいっぱい、いじっていいよ♡

んうぁ〜……♡

しこしこしこしこ……♡

ちんちんしこしこ♡

気持ちいい？ んふふ……♡

おっきいちんちん自分でいじるの、

気持ちよさそうだねえ……♡

普段はあたしたちが、いっぱいしこしこ、

ごしごしゅっしゅってしてるおちんちん♡

自分でするのってどんな感じ？

せっかく目の前に、いつでもえっちなことしてくれる、

便利なJKがいるのにさぁ……♡

しこしこしごしごし自分でするのって、

どういう気持ちなの？

ま、オナニーは別腹、みたいなところは、

あたしにもあるけどねえ……♡

あたしもね……♡ するよ、オナニー……♡

一番するのは……♡

お兄さんってちしたあと……♡

次の日とか……♡ その日の夜の時もあるかな……♡

お兄さんにいっぱい、ちんちんしてもらった時のこと、

思い出しながら……♡

おまんこ自分でぐちゅぐちゅうってするの……♡

それがすごく気持ちよくって……♡

楽しいんだぁ……♡

んふふ……♡

だけどやっぱり、一番気持ちいいのは、

お兄さんにしてもらう時だから……♡

気持ちはいいけど、ちょっと物足りなくって……♡

そのむずむずした感じをね……♡

おまんこに溜め込むの……♡

そして次にお兄さんとあった時……♡

そのむずむずするの、ちんちんでたっくさん、

ひっかいてもらうと……♡

すんっごい気持ちよくなって……♡

いっぱいおまんこイッちゃうんだ……♡

だからあたし、オナニー、好きだよ……♡

お兄さんとのえっち、いっぱい気持ちよくなるために……♡

たくさんオナニーするの……♡

ふふふ……♡

お兄さんもそんな感じ？

だからえっちするのとオナニーは、別にあるみたいな感じかな？

それともただ……♡

あたしに勃起ちんちん見せつけるのが、

好きなだけだったりして……♡

んふふ……♡

お兄さん、変態だもんねえ……♡

大人のくせに、JK相手にマジになってる、

鬼畜な人だもんねえ……♡

見せつけオナニーでいっぱい、

興奮しちゃうんだよねえ……♡

んふふふ……♡

はぁ……♡

それならさ……♡ ほら……♡

ちんちん、こっち向けて……♡

スカートめくっててあげるから……♡

あたしのパンツに、精液、ぶっかけていいよ……♡

えっちな耳舐めであったまった、

ばんっぱんのキンタマの中身……♡

ここにたくさんぶちまけてよ……♡

あたしのパンツ、精液染みこんで、

洗っても落ちなくなるまで……♡

どくどくびゅーびゅー、汚していいよ……♡

ほら、ほら……♡

ちんちんしこしこ、ちんちんごしごし♡

ちんしこオナニー気持ちいいねえ……♡

出していいよ♡ イッていいよ……♡

JKパンツ目掛けてザーメンどっぴゅん……♡

しこしこびゅっぴゅ♡ ぐっぐっびゅっぐん♡

はい、はい、はあい……♡

おちんちんどうぞお……♡

びゅっびゅっびゅーう……♡

んっうん……♡ あはっ、出た出た……♡

すごい量♡ んっうん……♡

たくさん、出てる……♡

んっ、はっ、はっああん……♡

はぁ、ふう、はぁ、はぁ……♡

んふふ……♡

ちんちんしこしこ、気持ちよかった？

ふふ、そっか♡ このぐらいのことなら、

いつでもお手伝いしてあげるよ♡

また、お兄さんのかっこいいちんしこ♡

あたしに見せてよね♡ んふふふふ……♡「♡」



マ「はぁ？ オナニー？

え、何？ せっかく二人で会ってるのに、
えっちじゃなくてオナニーなの？

ふうん……♡

そんなことしちゃうんだぁ……♡

わかった、いいよ♡ オナニーしても♡

おチンポしこしこしていいよ♡

ただしい……♡

その間、あたしはここでえ……♡

背中にぎゅーっておっぱい押し付けながらぁ……♡

乳首かりかり……♡ いじっちゃうから……♡

乳首たっぷりいじめられて、

乳首で感じながらオナニー……♡

するんだぞお……♡

ほうら、しこしこ、開始……♡

しこしこしこしこしこ♡ おチンポしこしこお……♡

乳首も、ほらほら……♡

指でつまんで、くりくりくりくり……♡

オス乳首、気持ちいい？ ふふふ……♡

どういうつもりであたしに、

オナニー見せつけようとしたのか、わかんないけど……♡

こんな風にされるなんて思ってたでしょ？

ただでさえさあ、めいとメシアの二人と出会って、

あたしと二人きりになれる時間、

減ってるって言うのに……♡

そんな貴重な時間を、おチンポオナニーで消費するとか……♡

ひどすぎでしょお……♡

だから乳首、いっぱいいじめてえ……♡

お仕置きしてあげちゃうよお……♡

ほらほら、ほうら………♡

くりくりこりこり♡ 乳首いじいじ………♡

おチンポおっきくなってるねえ………♡

しこしこごしごし、いっぱいこすって、

亀頭まで真っ赤になってる♡

このガチガチに勃起したおチンポ………♡

背中にいるJK押し倒せば、いつでもおまんこ、ハメ潰せるのになあ………

♡

なのにオナニーしたいとか、どういう心境？

自分だけ気持ちよくなろうとするなんて、

ひどいよねえ………♡

だから、存分に気持ちよくしてあげちゃう………♡

自分だけ気持ちよくなりたいんなら、なっちゃんえばいいじゃん………♡

乳首こりっこりにいじめられてえ………♡

キンタマもおチンポも、たあっぷりと………♡

感じまくっちゃえ………♡

ほらほら、ほらほら………♡

かりかりかり、こりこりこりこり………♡

オス乳首勃起してるよお………♡

指先でかりかりくってこすられるの、

気持ちいいんだあ………♡

さっきから、はあはあ吐息、荒くなってるもんねえ………♡

おチンポ気持ちいいから？

乳首気持ちよくしてもらって、えっちな吐息、

いっぱい出ちゃってるんでしょ？

それなら、もっといっぱいいくくりしちゃうからあ………♡

オナニーザーメン、たっぷり出しちゃえ………♡

JKに乳首イジってもらいながら、

おチンポいっぱい自分でこすって………♡

気持ちいいとこ何度もこすこすぐしぐししてえ………♡

ほかほかザー汁たっぷり出せ出せえ………♡

ほうら、出せ、出せ♡

乳首イジられながら、チンポ汁出せエ………♡

イケ♡ イケ♡ チンポイケチンポイケ♡

出せ出せ出せ出せえ………♡

びゅっびゅうびゅっびゅう♡

どくどくびゅるるう………♡

おチンポイッケえ………♡

はあい、びゅっびゅっびゅっびゅう………♡

どっぴゅん出てる♡

熱いのお漏らし、気持ちいいねえ♡

乳首まだまだいじったげるよお♡

ぜーんぶ出し切るまでずうっとお♡

かりかりこりこり………♡ 乳首つまんで、ぎゅっぎゅっぎゅう………♡

ザーメン搾り出せ♡ バカチンポ♡

んふふふふ………♡

もう出ない？ 出し切っちゃった？

オナニーはもうおしまい？ んふふ………♡

なら、次はあたしの番だからね♡

オナニーだけで終わるのとか、ありえないから♡

キンタマ空っぽになるまでえっちしてくれないと………♡

お兄さんのこと、嫌いになっちゃうぞ♡

いいよね？ んふふふふ………♡「♡」